

大日本税関規則草案

3439



114  
A 2377

大日本税關規則凡例



大正十一年四月贈

若クハノ字ハ端ヲ更ノテ上句ト下句トヲ分截

ス

譬ヘハ第一條某貨物ヲ日本國ニ輸入シ若

クハ日本國ヨリ輸出シ云々

如クハノ字ハ一句中ニ在テ上下ノ語辞ヲ區分

ス

譬ヘハ第一條如斯貨物ノ輸入人如クハ輸

出人云々

或ハノ字ハ句頭句中ノ別ナク上下ノ語辭ヲ區分ス然レモ此字ヲ用フルキハ上ノ語辭下ニ略詞アリ

譬ヘハ第十六條其他燃ヘ易ク諸貨物略或ハ破裂シ易キ諸貨物云々

且ノ字ハ事兩件ニ係ルモ同時之ヲ併セ要スル事物如クハ人等ヲ接續ス

譬ヘハ第六條自ラ陳述スル所ノ理ヲ審聽シ且其證據ノ概要及其證據ニ由テ審聽スル自己ノ考案云々

及ノ字ハ義例上ニ同シ

一税關長如クハ其代理人ト称スル者アリ又税關長如クハ其他ノ吏員ト称スル者アリ又税關長如クハ税關長ヨリ任セラレシ吏員ト称スル者アリ又單ニ税關長ト称スル者アリ此ニ密ニシテ彼ニ略スル者ハ皆文ヲ互ニシテ以テ其繁ヲ避クルノミ  
一輸出入人如クハ其代理人ト称スル者アリ又單ニ輸出入人ト称スル者アリ是亦文ヲ互ス

ルノミ所有者如クハ其代理人ト称シ又單ニ  
所有者ト称スルモ亦同シ

一 税關吏員ト称スル者アリ或ル吏員ト称スル  
者アリ税関ノ該當吏員ト称スル者アリ該當  
トハ其事ヲ擔任スル者ヲ謂フ是亦文ヲ互ニ  
スルノミ

一 船舶如クハ舟艇ト称スル者アリ縮メテ船艇  
ト称スル者アリ亦文ヲ互ニスルノミ

一 輸入願書一本 寫書二本ト称スル者アリ 輸入願書三本ト  
称スル者アリ其實ハ一本ノ外皆其寫書ナリ是亦文ヲ互ニス

ルノミ其他二本如クハ三本ト称スル者皆同シ

一 入港報告 エントリインワルツ

一 船貨報告 リポールト

一 輸入願書 エントリ

有税 デユテイ、グーツ

無税 フリー、グーツ

一 假票 サイト、エントリ

一 輸入願書<sup>返</sup> リインポート、エントリ

一 價直票 インボイス

一 送状<sup>送</sup> ビル、オフ、レ、イ、ヂ、キ、グ  
一 入庫願書 ウエー、ヤ、ハウ、シン、グ、エ、ン、ト

一出庫願書

エントリリー、フロム、ウエー、ヤ  
ハウス

国内用

ホーム、コン、シム、プ、シ、ヨ、ン

轉移願書

レム、ワ、ル、エ、ン、ト、リ、

返輸出願書

エントリリー、フロム、ウエー

ヤ、ハウ、ス、リ、エ、キ、ス、ホ、ー、テ

シ、ヨ、ン

一出港報告

エントリリー、アウト、ワ、ル、ツ、ラ  
フ、シ、ツ、プ

一載貨目録

マニフェスト

一清倉票

クレアリング、ボード

一輸出願書

シツピング、ビル

一免状

ペルミット

一借庫證書

ウエー、マ、ハウ、ス、ボ、ン、ド

一貨物轉移證書

ボンド、フォル、レム、ワ、ル、ラ、フ、

グ、ー、ツ

一送票

レツタル、ラフ、アド、ワイ、ス

大日本税関規則目次

第一項

貨物ノ納税ニツキ輸入人如クハ輸出人  
ト税関吏員トノ間ニ起レル紛議

第一條

紛議起ルルハ輸入人如クハ輸出人ハ税関長  
ノ要スル所ノ税ヲ假納スヘキ事

第二條

假納金處置ノ事

第二項

商人如クハ他人ト税関吏負トノ間ニ起  
ルル訴訟紛議及其審問又税関ニ干渉ス  
ル諸事ノ審問又争論ニ干スル税関吏負  
或ハ他人ノ行為ノ審問

第三條

紛議訴訟審問ノ事

第四條

贖罰ヲ免除減科スル権ノ事

第五條

公裁廳ニ上控スルノ事

第六條

租税頭如クハ代理人公ナル審問ヲ行フ事

第七條

租税頭訴訟ヲ推究決判スル事

第八條

式禮順序ヲ守ラシムル権ノ事

第九條

租税頭審問ヲ行フ為メニ代理人ヲ命スル事

第十條

干證ヲ提召スル權ノ事

第十一條

審問ヲ施行スル規則ノ事

第三項

日本港ニ諸貨物ヲ輸入セシカ為メ外國ヨリ輸出スル輸出人如クハ其代理人ヨリ其地在留日本領事ニ出スヘキ價直票

第十二條

輸入人ハ輸出港ノ日本領事ニ價直票ヲ出スヘキ事

第十三條

領事ハ價直票ノ正實ヲ認レハ之ニ證印スル事

第十四條

諸港ニ送致シ或ハ數艘ニ裝載セル貨物ハ各價直票ヲ別作スヘキ事

第十五條

價直票ニ記載セサル港ニ輸入スル時况ノ事

第四項

輸入入庫ヲ許ス諸貨物及制禁制限ノ諸



貨物

第十六條

輸入入庫規法ノ事

第十七條

制禁及制限ノ事

第十八條

輸入制禁貨物ノ事

第十九條

輸入制限貨物ノ事

第五項

船舶ノ入港官吏ノ臨監投陸ノ時期

第二十條

船舶ハ官吏ヲ臨監セシメンカ為メニマテ

レヨンニ到着シ及監吏ニ房室等ヲ供スヘキ

事

第二十一條

官吏船舶ニ上監スル事

第二十二條

輸入貨物ヲ投陸スル時期及場所ノ事

第二十三條

輸入ノ時及船舶到着ノ時ヲ定ムル事

第六項

諸商船ノ船貨報告

第二十四條

船長到着後二十四時内ニ船貨報告ヲ税関ニ  
出ス事

第二十五條

報告ノ虧欠ニツキ船長ヲ罰スル事

第二十六條

船長送状ヲ出シ及質問ニ答フル事

第二十七條

入港ノ船舶船籍如クハ領事ノ證書ヲ港長局  
ニ出スヘキ事

第二十八條

鯨漁船困難船ハ船貨報告ヲ出スヲ要セザ  
ル事

第二十九條

船貨報告ノ過誤脱漏ヲ改正スヘキ時期ノ事

第三十條

苞箱内ノ物品ヲ通知セサルヲ申報スル事

ハ之ヲ打開シ及検査スルヲ得ヘキ事

第七項

輸入船ヨリ投陸シ国内用ノ為ニ引取  
ルヘキ諸貨物ノ輸入願書及價直票

第三十一條

国内用ノ輸入願書及價直票ノ事

第三十二條

従價貨物ノ付價収税及詐偽ノ輸入願書ノ事

第三十三條

定額税ヲ納ムヘキ願書ノ事

第三十四條

無税貨物願書ノ事

第三十五條

税金ヲ納ムル事

第三十六條

税関吏負貨物ヲ秤テ税額ヲ賦スル事

第八項

税ヲ納メスレテ入庫ヲ要スル貨物ノ輸  
入願書

第三十七條

入庫ヲ要スル輸入願書ノ事

第三十八條

入庫ノ為メニ願書ヲ出セシ諸貨物更ニ願書ヲ出セハ国内用如クハ輸出ノ為メニ引取ルコトヲ得ヘキ事

第九項

検査ヲ請ンカ為メニ投陸スヘキ輸入貨物ノ假票及其全備ノ輸入願書

第三十九條

貨物明白ナラサル片ハ假票ニテ輸入願ヲ為

スコトヲ得ヘキ事

第四十條

假票ニテ貨物ヲ投陸スル免杖及其假票ヲ全備スル事

第四十一條

三箇日内ニ全キ輸入願書ヲ出サレハ其貨物ヲ税関倉庫ニ運入スル事

第十項

日本国ニ返輸入シ如クハ再輸入スル貨物ノ輸入願書

第四十二條

日本國產ノ返輸入及外國產ノ再輸入ノ事

第十一項

日本政府如クハ各國公使領事等ニ屬スル物品ノ輸入願書

第四十三條

内外ノ公使領事及日本政府ノ物品無税ノ事

第十二項

輸入願書ニ関スル雜則

第四十四條

諸規則ニ違反スル罰贖ノ事

第四十五條

輸入願書中偽書ノ貨物ヲ沒收シ如クハ其稅ヲ增課スル事

第四十六條

輸入願書ニハ貨物ヲ正當ニ書載スルニ非サレハ正實トナスコトヲ得サル事

第四十七條

苞箱内ニ匿藏シ如クハ輸入願書ヲ出サズ引取リタル貨物ハ之ヲ沒收スル事

第四十八條

許可ナキ代理人如クハ無權ノ衆人ニハ貨物ノ輸入願書ヲ為スヲ許サ、ル事

第四十九條

代理人ハ委任状ヲ出スヘキ事

第五十條

諸吏負ハ照本ヲ取ルヲ得ル事

第五十一條

十四箇日内ニ輸入願書ヲ出サ、レハ其貨物ヲ税関倉庫ニ運移スル事

第五十二條

諸貨物十四箇日外船舶上ニ存在スル片ハ其保護ノ費用ヲ償了スルマテハ出港免状ヲ與ヘサル事

第十三項

航海中損傷ヲ被リタル貨物ノ減税

第五十三條

損傷貨物減税ノ事

第十四項

諸貨物ノ舩積舩卸投陸検査及入庫

第五十四條

貨物ノ艀積艀卸等ハ所有人ノ費金ヲ以テ之ヲ行フヘキ事

第五十五條

免許ナク運移スル貨物ヲ没収スル事

第五十六條

税関吏負入庫貨物ノ細目ヲ書取ル事

第五十七條

投陸ノ時ノ細目ニ從テ其税ヲ納ムヘキ事

第五十八條

入庫貨物ハ原苞箱如クハ細目ヲ書取タル儘ニテ之ヲ積入ルヘキ事

第五十九條

税関長某貨物ヲ再苞シ得ヘキヲ指令スル事

第六十條

正當ニ入庫セス詐偽ヲ以テ匿藏シ如クハ運移スル貨物ヲ没収スル事

第六十一條

入庫貨物ノ輸入人如クハ所有人竊ニ其貨物

ニ近接スル罰贖ノ事

第六十二條

出庫願書ノ事

第六十三條

出庫願書ヲ出サス倉庫ヨリ取出セシ貨物ハ之ヲ没収スル事

第六十四條

火災等ニテ損傷セシ貨物ノ所有人ハ賠償ヲ得ハカラサル事

第六十五條

紛失或ハ滅却セシ貨物ニハ諸税ヲ免スルコトアルヘキ事

第十五項

入庫シタル貨物ノ運移

第六十六條

甲港ヨリ乙港ニ入庫貨物ヲ運移スル事

第六十七條

甲港ノ官吏ハ乙港ノ官吏ニ貨物ノ細目ヲ記セル送票ヲ贈ルヘキ事

第六十八條



乙港ニ到着セル貨物取扱ノ事

第六十九條

貨物乙港ニ到着セシ後輸出如クハ国内用ノ為メニ願書ヲ為スヲ得ル事

第七十條

入庫貨物一箇年間ニ出賃セサレハ再入庫ノ手順ヲ為スヘキ事


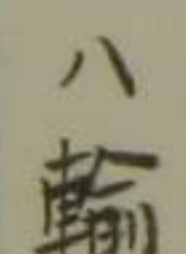
第七十一條

一箇年後ニ出庫セサル貨物ハ之ヲ賣却スル事

第七十二條

倉庫内ノ貨物ハ一定ノ規則ニ從ハハ之ヲ取出シ得ル事

第十六項

国内用  或  ハ輸出諸貨物ノ出庫願書

第七十三條

国内用貨物ノ出庫願書及納税ノ事

第七十四條

輸出貨物出庫ノ事

第十七項

諸貨物ノ輸出願書及船舶ノ載貨目錄

第七十五條

船長ハ清船票ヲ出スヘキ事

第七十六條

輸出願書ノ事

第七十七條

従價貨物ノ付價收税及詐偽ノ願書ノ事

第七十八條

定額税ヲ納ムヘキ願書ノ事

第七十九條

無税貨物願書ノ事

第八十條

税金ヲ納ムル事

第八十一條

貨物積移ノ事

第八十二條

船用ノ石炭及薪油ノ船積ノ事

第八十三條

外国貨物返輸出ノ事

第八十四條

大藏省  
内外諸公使等ノ物品無税ノ事

第八十五條

船積ノ時期及場所ノ事

第八十六條

船長載貨目録ヲ出スヘキ事

第十八項

輸出願書ニ関スル雜則

第八十七條

諸規則ヲ遵奉セサル罰贖ノ事

第八十八條

輸出願書中偽書ノ貨物處置ノ事

第八十九條

輸出願書ニハ貨物ヲ正當ニ記載スヘキ事

第九十條

苞箱内ニ匿藏シ若クハ免杖ナクシテ水運セシ貨物ハ之ヲ没収スル事

第九十一條

免許ヲ得サル代理人如クハ無權ノ衆人ニハ輸出願書ヲ出スヲ許サハル事

第九十二條

代理人ハ委任状ヲ出スヘキ事

第十九項

貨物ノ沿海運輸

第九十三條

沿海回滯ノ貨物ニハ税金ヲ假納スヘキ事

第二十項

諸船舶ノ噸税

第九十四條

噸税ノ事

第二十一項

雜則

第九十五條

税関ハ午前十時ヨリ午後四時ニ至ルマテ之ヲ開ク事

第九十六條

税関ノ祝日及休日ノ事

第九十七條

文書中所用諸ノ事

第九十八條

税関長ハ常外ノ事務ニツキテ規銀及規則ノ

條冊ヲ草製シ租税頭ノ決ヲ乞フヘキ事

第九十九條

租税頭ハ規銀及遵奉スヘキ規則ヲ指令スル  
事

第一百條

税関長ハ郵船ノ特別ノ規則ヲ設立スル事

第一百一條

諸免状證書規銀ノ事

第一百二條

一時投陸ノ事

第一百三條

軍艦物品船積投陸ノ事

第一百四條

船移願書ニハ諸細目ヲ記載スヘキ事

第一百五條

免状ナクシテハ貨物ノ船移ヲ許サ、ル事

第一百六條

免状ナク船移スル貨物ヲ没収スル事

第一百七條

過納税返還ノ事

第百八條

税関長ノ裁決ニ服セスシテ上控スル事

第百九條

未納税追徴ノ事

第百十條

税関長ハ未納税ヲ追徴セン為メニ訴訟ヲ為ス  
トテ得ル事

第百十一條

文書ノ寫ハ規銀ヲ納メハ之ヲ得ヘキ事

第百十二條

税関長ハ藏船ノ設置ヲ許可スルヲ得

第百十三條

税関長藏船ノ設置ヲ許可スル事

第百十四條

税関長倉庫ヲ備フル事

第百十五條

火藥等枚陸貯藏ノ事

第百十六條

船舶不開港ニ赴ク時税関吏員ヲ臨監セシム  
ル事

第百十七條

船長諸税罰金等ヲ納ムルヲ能ハサレハ其所  
有品ヲ賣却シ之ヲ償フ事

第二十二項

諸船艇ノ制限及密商脱税ノ防禦

第百十八條

規則ニ反シ使用セシ船艇ヲ處置スル事

第百十九條

税関長ハ船艇ニ特許ヲ與ユルヲ得ル事

第百二十條

税関長ハ免状ヲ廢止スルヲ得ル事

第百二十一條

免状ヲ得ス若クハ免状ヲ所持セサル船艇ハ  
之ヲ沒收スル事

第百二十三條

脱税制禁等ノ貨物ヲ運漕スル船舶ハ之ヲ沒  
收スル事

第百二十四條

船舶ニ屬スル舟艇ハ船舶ノ名号ヲ明記スヘ  
キ事

第百二十五條

船舶ニ属セサル舟艇ハ其所有人ノ名氏ヲ明記スヘキ事

第百二十六條

免状ナク船積船卸セル貨物及制禁ノ貨物ハ之ヲ没收スル事

第百二十七條

詐偽ヲ以テ諸貨物ヲ輸出入シ後日発見スル罰贖ノ事

第百二十八條

免状ナク運搬スル諸貨物ハ密商脱税スル者ト看做スヘキ事

第百二十九條

船貨ヲ船卸セシ事由ヲ説明セサレハ其船舶ハ之ヲ没收スル事

第百三十條

押留或ハ検査スヘキ船舶ニ発砲スル事

第百三十一條

諸港ノ境界内ニ泊スル船舶ハ官吏ノ搜索ヲ受クヘキ事



第百三十二條

税関吏員車等ヲ留駐シ其貨物ヲ搜檢スル事

第百三十三條

税関吏員ハ家屋ニ入り脱税制禁ノ貨物ヲ搜  
索スルヲ得ヘキ事

第百三十四條

没收ニ属スル諸貨物ヲ運移スル諸船舶舟艇  
及運輸器ハ之ヲ没收スル事

第百三十五條

船舶舟艇ヲ取押ヘ及諸犯人ヲ拘留スル事

第百三十六條

取押ヘタル貨物ハ之ヲ税関倉庫ニ運致スヘ  
キ事

第百三十七條

盜掠ニ疑アル貨物ハ本人審訊ヲ受ルヘテ之  
ヲ留置スル事

第百三十八條

船艇如クハ貨物ヲ取押ヘ其所有人ニ其事由  
ヲ報告スル事

第百三十九條

租税頭如クハ税関長ハ取押ヘタル貨物ヲ交  
付スルコトヲ得ル事

第百四十條

取押ヘタル船艇如クハ貨物ハ税関長ノ指令  
ニ從ヒ之ヲ處置スル事

第二十三項

諸犯人ニ科スヘキ罰贖

第百四十一條

密高脱税ノ貨物ヲ匿藏セルニ疑アル人ハ之  
ヲ搜檢シ其貨物ハ之ヲ沒收スル事

第百四十二條

諸人搜檢ヲ受クル前ニ税関長ニ申明スルコ  
トヲ得ル事

第百四十三條

違行ニツキ吏員ニ科スヘキ罰贖ノ事

第百四十四條

制禁制限ノ貨物等ヲ輸出入スル罰贖ノ事

第百四十五條

検査前貨物ヲ運移スル罰贖ノ事

第百四十六條

没収ニ属シタル船舶ニ在リシ人ノ罰贖ノ事  
第百四十七條

逃亡人ヲ拘留スル事

第百四十八條

規則ヲ犯セシ人ヲ拘留スル事

第百四十九條

租税頭税関長罰金ヲ減科免除スル事

第百五十條

吏員ヲ障碍スル人ヲ拘留スル事

第百五十一條

褒賞ノ為メ罰金ヲ給與スル事

第百五十二條

犯則人ヲ拘留スル褒賞ノ事

第百五十三條

貨物ヲ取押ユル褒賞ノ事

第百五十四條

貨物ノ價直ヲ以テ罰金ノ數額ヲ定ムル事

第百五十五條

吏員賂等ヲ受ケ貨物ヲ見遁シ若クハ右等ヲ  
以テ之ヲ見遁サシメシヲ謀リシ罰贖ノ事

第百五十六條  
 罰金ヲ償了スルヲ能クセサル者ヲ裁廳ニ  
 送致スル事

大日本税關規則

第一項

貨物ノ納税ニツキ輸入人如クハ輸出人  
 ト税關吏員トノ間ニ起レル紛議

第一條

其貨物ヲ日本國ニ輸入シ。若クハ日  
 本國ヨリ輸出シ。之カ税金ヲ納ムルニ當リ。其  
 割合如クハ全額ニツキテ。紛議起ル片ハ。其輸  
 入人。輸出人。如クハ此等ノ代理人ハ。其輸入港  
 如クハ輸出港ノ税關ニ。先其税關長ノ要求ス  
 ル所ノ税額ヲ假納スヘシ。而シテ如斯貨物ノ

紛議起ル片  
 ハ輸入人如  
 クハ輸出人  
 ハ税關長ノ  
 要スル所ノ  
 税ヲ假納ス  
 へキ事

大  
 義  
 省

輸入人如クハ輸出人ハ其假納セルノ時期ヨ  
 リ。三箇月内ニ其貨物ニ幾許ノ税額ヲ納ムヘ  
 キカヲ定メンカ為メニ。如斯税關長ヲ相手ト  
 リテ。一ノ訴訟ヲ為スヘシ。第五條税關長ノ決  
 判ニ不服ノ時陳述  
 スル申状ノ否ラサレハ其假納税金ハ。即其貨  
 物ニオ井テ納ムヘキ至當ノ税額ト看做スヘ  
 シ。而シテ如斯税關長ハ。如斯輸入人輸出人受  
 托人如クハ此等ノ代理人ニテ。其假納金ヲ納  
 ヲ。且貨物ノ正當ノ輸入願書ヲ為了スル片ハ。  
 其貨物ヲ通關セシム。

假納金處置ノ事

第二條

上條ノ如クニシテ。假納金ヲ収メ。而  
 シテ上條所定ノ期限内ニ訴出サレ片ハ。其假  
 納金ハ。恰モ貨物ニ適當ナル正税ヲ納メタル  
 モノ、如ク。之ヲ處置スヘシ。若又其期限内ニ  
 訴出ルモノアリテ。嚮ニ要求ニ應シ假納シタ  
 ル金額。實ニ其貨物ノ税ニ適セスシテ。幾分ノ  
 少額ニテ相當スヘク。若クハ全ク之ヲ返却ス  
 ヘキニ決セル片ハ。税關長ハ。嚮キニ假收シ置  
 キタル金額ノ其相當ノ税額ヲ過タル餘分。若  
 クハ其假收シ置キタル全額ニ其收メ置キタ

ル日數ニ應シ。一箇年五朱ノ割合ヲ以テ其利  
 子ヲ算加シ。速ニ其假納人ニ還付スヘシ。又其  
 訴訟費用ノ如キハ。如斯訴訟ニ贏得タル一方  
 ノ者。其裁廳以下裁廳ノ字ヲ用ユル。租稅頭ノ  
 間キシ者ヲ指ス者アリ。指ス者アリ。  
ノ裁判所ヲ指ス者アリ。ノ決放スル片ニ之ヲ得ヘキノ許  
 ヲ得。而シテ其費額ハ。裁廳ニテ裁決スル所ノ  
 定額■ ■ ■ ■ ■ニ從フヘシ

第二項

商人如クハ他人ト税關吏員トノ間ニ起  
 レル訴訟紛議及其審問又税關ニ干涉ス  
 ル諸事ノ審問又爭論ニ干スル税關吏員  
 或ハ他人ノ行為ノ審問

第三條

船長船主商人貨物輸入人受託人船  
 積人輸出人如クハ此等ノ代理人ト税關吏員  
 トノ間ニ於テ吏員ノ諸船舶如クハ貨物ヲ取  
 押ヘ如クハ拘留セシ。若クハ上ニ記スル所  
 ノ諸人ニ於テ顯然タル過誤如クハ不注意ノ

紛議訴訟審問ノ事

贖罰ヲ免除  
減科スル權  
ノ事

一。若クハ如斯諸人ノ税關ニ平歩スル法律如クハ規則ヲ遵奉セザルヲ等ニ付テ紛議起レハ。税關長ハ其當然ナル規法ニ從ヒ之ヲ安排シ之ヲ決裁スルノ權ヲ有ス。

第四條

税關長ハ如斯紛議起リシ片其事由

ヲ考審セシ後船長船主商人貨物輸入人受託人船積人輸出人如クハ此等ノ代理人ヲ以テ既ニ贖罰如クハ沒收罪ヲ犯セルモノト決セ<sup>○時況ニ由リ</sup>ルモ原免スヘキノ情アルハ其贖罰如クハ沒收ヲ免除シ。若クハ其幾分ヲ減シテ之ヲ科ス

ルヲ正當トスル片ハ

減科ヲ施行スルヲ得ヘシ

第五條

如斯船長船主商人輸入人船積人輸

出人如クハ此等ノ代理人前ニ謂フ所ノ諸件ニ付テ税關長ノ決判ニ服セス。若クハ税關吏負各其職務ヲ取ルノ際ニ於テ其施行セシ處置<sup>○若</sup>クハ其施行スベクシテ施行セザル諸件ニツキ。税關吏負ヲ告愬スヘキ理アリト為セハ。此等ノ本人ハ。税關長ノ決判ニ不服ノ所以ヲ陳シ<sup>○若</sup>クハ其將廿ニ税關吏負ヲ告愬セン

公裁廳ニ上  
控スルノ事

トスル原因ノ概畧ヲ陳述シ。皆其中狀ヲ作  
リ。如斯稅關長ニ出スルハ。其稅關長則其事實  
ノ終始ヲ記セル書牘ト俱ニ。其申狀ヲ租稅頭  
ニ上申スヘシ。而シテ租稅頭ハ。其告愬或ハ決  
判ノ復審ヲ為スノ權ヲ有ス。

第六條

租稅頭上ニ謂フ所ノ如キ書牘及申

狀ヲ受レハ。其旨趣ヲ復審セシメンカ為メ。其  
一頁如クハ其代理人ヲ派出セシメ。之カ為メ  
ニハ一ノ裁廳ヲ設クヘシ。原告被告如クハ此  
等ノ代辨人干證人及他ノ此ニ干連スル者ハ。

租稅頭代理  
人公ナル審  
問ヲ行フ事

皆各此廳ニ至ルヘシ。又其他ノ諸人モ。此廳ニ  
至ルヲ欲セハ。亦自由ニ登廳スルヲ允ス。  
而シテ其派出ノ租稅頭如クハ其代理人ハ。原  
告人代辨人如クハ代言人ヨリ出ス所ノ詳細  
ノ申報ヲ受ケ。且如斯原告人代辨人如クハ代  
言人ノ其愬訟ヲ支持スル為メニ自ラ陳述ス  
ル所ノ理ヲ審聽シ。且其證據ノ概要及其證據  
ニ由テ審聽スル自己ノ考案。且其審聽ノ時引  
證セル故事議論アレハ。其故事議論等之ヲ書  
シ如クハ書セシメ。之ヲ他ノ租稅頭ニ報知ス



ヘシ。而シテ税關長ノ其原決ヲ示タンカ為  
メニ致セル證據。若クハ他ノ吏員ニ對スル懇  
訟ナレハ。其吏員ノ致セル推諉ノ證據。及  
上考案議論等ヲモ亦同。之ヲ書シ如クハ書セシメテ。前  
ト同ク他ノ租税頭ニ報知スヘシ。而シテ如斯  
證據ヲ集メ。及如斯審聽ヲ施行スルノ順叙ハ。  
緊ニ裁判諸廳ノ審聽順叙ニ從ヒ。之ニ合同ス  
ル。之ヲ規トス。

第七條

租税頭ハ。如斯證據ノ報告ヲ受テ後

之ヲ推究スル。之ヲ適當トセハ。直ニ之ヲ推究

租税頭訴訟  
ヲ推究決判  
スル事

シ。直ニ之ヲ裁決スル。之ヲ至當トセハ。其證據  
ニ依リ。即チ裁決ス。而シテ其決定ニ從ヒ。其命  
令狀ヲ作り。其報告ヲ得シ即日如クハ後日ニ。  
開廳ニ於テ。之ヲ此ニ干涉セル一夥人ニ告知  
ス。且斯ク告知スヘキ時日ハ。亦之ヲ右等ノ人  
ニ告知スヘシ。而シテ如斯租税頭。最初審聽ヲ  
行ナヘル租税頭如クハ其代理人ヨリ報知セ  
シ事實情況及證據ヲ考究シ。罰贖減贖如クハ  
沒收ヲ命セン為メ。或レ命令ヲ作ル片ハ。如斯  
命令ハ。審司裁判廳ノ判事等ノ指ス。以下之ニ從  
ス。其常法ニ從

テ之ヲ決判スルト。其權カヲ限テ人而シテ如  
斯命令ハ。租税頭如クハ其代理人二人以上ニ  
テ之ヲ或ル審司ニ交付シ。之ヲ處置セシムヘ  
シ。而シテ其審司ハ之ヲ受ケ。乃自家ノ發スル  
者ト同法ヲ以テ之ヲ施行スルヲ規法トス。  
然レ氏此開廳ニ命令ヲ告知セシ後十日内  
ニ其告知ヲ受ケタル者ヨリ書牘ヲ以テ租税  
頭如クハ税關長ニ不承服ヲ報知スルルハ租  
税頭ハ其訴訟ヲ為スノ順叙ヲ指示スルヲア  
ルハシ。又如斯命令ヲ受ケタル者前記ノ聽訟

大  
審  
官

式禮順序ヲ  
守ラシムル  
權ハ事

如クハ命令ヲ受ケサルモノ、如ク之ヲ他ノ  
審聽ノ權ヲ有セル裁廳ニ訟ヘ其回復ヲ受ル  
ヲ得ヘシ。若如斯船長、船主、商人、輸入人、船積  
人、受托人、輸出人、如クハ此等ノ代辨人前記  
載セシ上控ヲ用ユルヲ欲セス。唯租税頭一人  
ニ其訟事ヲ審議センヲ乞フルハ。月曜日  
如クハ火曜日ノ一時ヨリ三時マテノ間ニ  
裁廳ニ至テ之ヲ行フヲ得ヘシ。  
第八條 前條來ノ審問ヲ執行スル租税頭ハ  
裁廳ニ臨裁スル審司ノ其權執行ニ等シク。

如クハ火曜日ノ一時ヨリ三時マテノ間ニ  
裁廳ニ至テ之ヲ行フヲ得ヘシ。  
○如斯時況ニ於テハ  
租税頭税關ニ出テ

大  
裁  
官

租税頭審問  
ヲ行フ為メ  
ニ代理人ヲ  
命スル事

如斯審問ノ間。式禮ヲ督シ。順意ヲ創スルノ諸  
權ヲ有ス。

第九條 第一條來陳スル所ノ事況。若クハ税  
關吏員ノ管理スル所ノ諸掌務ニ關スル告愬。  
若クハ其他ノ諸事件。若クハ其掌務ヲ管スル  
所ノ吏員或ハ他人ノ行為等ニ就テ。其事實如  
クハ事實ノ真偽ヲ晰覈センカ為メ。之カ審問  
ヲ行フヲ要スルキハ。租税頭如クハ其之  
カ為メニ命スル所ノ諸人ハ。其審問ヲ行フ  
ヲ得。而シテ如斯審問ニ於テ。為メニ證據ヲ要

セハ。共ニ登廳セル人ヲシテ。之ヲ立テシムル  
ヲ得ヘシ。又干證トシテ審訊ヲ受ルノ人。其  
證據ヲ要スルノ時ニ當リ。故ラニ虚偽ヲ以テ。  
證據ヲ立ツルヲ為セハ。即偽證ノ罪犯ニ擬  
斷シ。刑法ニ據テ。之ヲ處置ス。

第十條 如斯審問ヲ行ヒシ後。租税頭、税關長、  
如クハ此等ノ人ヨリ。其審問ヲ行フヘキ委任  
ヲ受ケシ吏員ハ。其干證トシテ要スル所ノ人  
ヲシテ。登廳セシメ。之カ為メニ。其招札ヲ作り。  
其登廳ノ期日及場所ヲ詳記シ。以テ之ヲ提召

干證ヲ提召  
スル權ノ事

審問ヲ施行スル規則ノ行

第十一條

租税頭ハ如斯審問ヲ施行セシカ

スヘシ。且如斯審問如クハ此ニ干渉セル事項ニ於テ。其事實ノ情况ヲ明ニセシカ為。其證據ヲ立テシムルヲ得ヘシ。而シテ如斯提召ヲ受ケシ人。其登廳ヲ怠タリ如クハ拒絶シ。若クハ其登廳スルモ。證據ヲ立ツルヲ拒ミ。若クハ其知ル所信スル所ヲ竭シテ。審問ニ答フルヲ得。若クハ如斯違犯ニツキ。如斯人ヨリ百圓以下五十圓以上ノ罰金凡ソ規則中。罰金、過金ノ別アリ。今算ニ罰金ト稱シ。一之ヲ別タス。ヲ徴收ス。

為ノニ。便利、須要、如クハ至當ト為セル規則及指令ヲ發スルヲ得ヘシ。且如斯規則及指令ヲ發スレハ。其便利ト為サ、ルモ。租税頭ノ權ヲ以テ。之ヲ廢替シ如クハ改易スルニ非サレハ。其審問施行ノ間。之ヲ遵奉セサルヲ得ス。

第三項

日本港ニ諸貨物ヲ輸入セシカ為ノ外國ヨリ輸出スル輸出入如クハ其代理人ヨリ其地在留日本領事ニ出スヘキ價直票

第十二條

日本國ノ税關規則ニ於テ輸入ヲ禁セサル貨物ヲ日本ノ或ル開港ニ輸入セシカ為ノ或ル外國港ヨリ輸出シ之ヲ船積スル片ハ如斯貨物ノ輸出入如クハ其代理人ハ其貨物買收品ニ係ル片ハ次下ノ書式ニ據リテ價直票二本ヲ作り其買收セ場所年月日及

輸入人ハ輸出港ノ日本領事ニ價直票ヲ出スヘキ事

現ニ之ヲ買收セシ貨幣ヲ以テ。其真價ヲ記シ。  
 若其貨物。買收品ニ非スシテ。製作人自ラ船積  
 セシモノニ係レハ。亦次下ノ書式ニ據リテ。價  
 直票二本ヲ作り。其製作セル場所年月日。及其  
 時ノ同品位貨物ノ真價ヲ記シ。之ヲ其外國港  
 ニ在留スル日本ノ領事。總領事。如クハ副領事  
 ニ出シ。其證印ヲ請ヒ。之ヲ其貨物ト共ニ輸送  
 スヘシ。若右等ノ領事不在ノ港ニ於テハ。其近  
 傍ニ在留スル右等ノ日本領事ニ出シ。若近傍  
 ニ於テ。右等ノ領事不在留セサレハ。日本領事代

理ノ外國領事ニ出シ。其證印ヲ請フヘシ。而シ  
 テ如斯各領事一モ在留セサル港ニテ。之ヲ船  
 積スル片ハ。其港ノ税關長ノ證印ヲ受クルモ。  
 亦妨ケナシトス。

領事ハ價直  
票ノ五實ヲ  
認レハ之ニ  
證印スル事

第十三條

前ニ記スル日本諸領事如クハ日

本領事代理ノ外國領事等ハ輸出人如クハ其  
代理人ノ出セシ價直票ヲ點檢シ或ハ時況ニ  
於テハ輸出人如クハ其代理人ヲ招キ質問シ  
テ審カニ辨明セシメ其正且實ナルヲ的認  
スレハ則其價直票ノ各本ニ記名シ且證印シ  
一ハ其館ニ留メ一ハ其輸出人如クハ代理人  
ニ還付スヘシ而シテ從價稅ヲ課スヘキ貨物  
ニ係レハ其價直票ニ證印セシ日ノ同品位貨  
物ノ真價ヲ記シ且其貨物ニツキ姦詐預防ノ

為ノニ。或ル諸件ヲ記シ。之ヲ輸出人如クハ其代理人ニ付スヘシ。若價直票中ニ記載セシ貨幣。日本國ニ於テ。其價位ノ比較未タ確定セザルモノハ。其貨幣。日本ノ貨幣ニ比シテ幾許ニ當スヘキ概見ヲ付シ。之カ書翰ヲ作り。之ヲ如斯輸出人如クハ代理人ニ付スヘシ。輸出人如クハ代理人ハ其貨物ト共ニ。之ヲ輸入スヘキ港ニ輸送スヘシ。

第十四條 一船舶中ニ裝載シタル貨物ヲ。日本ノ諸港ニ分送セント欲スル片ハ。該貨物ノ

諸港ニ送致シ或ハ數艘ニ裝載セル貨物ハ各價

直票ヲ別作スヘキ事

輸出人如クハ其代理人ハ。其分送スヘキ港毎ニ。別ニ價直票ヲ作ルヘシ。一箇ノ價直票ニ同記スルヲ許サス。又數艘ノ船舶ニ裝載シタル貨物ハ。縱ヒ一箇ノ輸出人ノ所有ニシテ。日本ノ一港ニ同輸スルノ品ト雖モ。亦一箇ノ價直票ニ記載スルヲ許サス。如斯輸出人如クハ其代理人ハ。其船舶毎ニ。價直票ヲ別チ作クルヘシ。

第十五條 價直票中ニ記載シタル輸入港ノ外ニハ。決シテ其貨物ヲ輸入スルヲ許サス。

價直票ニ記載セザル港ニ輸入スル時况ノ事



但輸入港ニ着船シ。其港内ニテ騷亂如クハ戰  
争等。非常ノ變故アリテ。已ムコトヲ得ス。他港ニ  
轉送スルモノハ。其轉送セシ港ノ税關ニ其事  
由ヲ報告シ。税關長ノ允許ヲ得テ。其貨物ヲ輸  
入スヘシ。

第四項

輸入入庫ヲ許ス諸貨物及制禁制限ノ諸  
貨物

第十六條

輸ハ八庫規  
法ノ事

此規則如クハ當時現ニ行ハル、  
法令上ニ於テ。輸入ヲ禁セザル諸貨物ハ。日本  
國ニ輸入スルコトヲ許ス。又之ヲ未タ納稅セス  
シテ。入庫規則ニ從ヒ。税關長ノ指示スル倉庫  
ニ納置スルコトヲ許ス。但米、各種ノ穀物、肉類、粉  
類、材木、機械、砂糖、其他燃ヘ易ク或ハ破裂シ易  
キ諸貨物。又他ノ入庫貨物ヲ損害シ、或ハ他ノ

入庫貨物ノ為メニ不良ナル諸貨物。又甚重大ナルカ或ハ運移シ易カラサル諸貨物。又租稅頭ノ布令シテ入庫ヲ禁スル貨物ハ。一切入庫ヲ許サス。而シテ此等ノ貨物ハ。最初輸入ノ時。收稅スルヲ以テ。規法トス。

第十七條 次下ニ表示スル所ノ制禁及制限ノ諸貨物ヲ。其制禁如クハ制限ニ背テ。日本國ニ輸入スレハ。如斯貨物ハ。總テ之ヲ戻收シ。如クハ滅毀シ。若クハ租稅頭ノ指令スル所ノ方法ヲ以テ。之ヲ處置ス。

第十八條

輸入制禁ノ貨物

日本國ノ貨幣ニ擬セル貨幣ニシテ。其量質。帝國ノ本位ニ非サルモノ。諸種ノ偽造貨幣。淫醜ノ圖畫、冊子、牌札、石版、版行畫、寫真畫、其他諸般ノ淫醜物。日本國ニ住セル製造人ノ姓名、烙印、如クハ記號ヲ擬表セシ外國製造品。又苞箱上ニ。右等ノ姓名、烙印、記號ヲ表セシ贋物。

華氏驗温器一百二十以下ノ熱度ニ發光ス  
ル石腦油、石炭油、如クハ他ノ礦油等。

質生藥、質製藥、劇烈飲料品、其他諸般質造ノ  
食飲物。

日本國外ニ住居スル製造人ノ諸姓名記号烙印  
ノ標簽。

第十九條

輸入制限ノ貨物

「オーピウム」ハ、只藥料ノ為メニ日本政府ノ  
許可ヲ經シモノノ三、輸入ヲ許ス。但文部卿

輸入制限貨物ノ事

ノ發スル所ノ規則ヲ奉スヘシ。

傳染病ノ家畜、綿羊、如クハ其他ノ動物類、又  
傳染性ノ諸家畜、諸動物類ノ生皮、毛皮、角蹄、  
如クハ其他ノ諸部。

銃砲、彈藥、如クハ諸兵器ノ輸入ハ、時々公布  
ヲ以テ禁止スルヲアルヘシ。

第五項

船舶ノ入港官吏ノ臨監投陸ノ時期

第二十條

日本國ニ進入スル諸船舶至當ノ

碇泊場ニ到ルニ及ヒ。稅關吏員ヲ其船上ニ臨

監セシメンカ為メニ。租稅頭ノ令セル「ステ

シヨ」ニ赴カサルモノ。若クハ如斯至當ノ場

所ニ達セル後。稅關吏員ノ許可如クハ指令ヲ

受ケスシテ。其場所ヨリ他ニ移轉スルモノ。若

クハ臨監吏員ノ為メニ。庇蓋ヲ具セシ房室如

クハ寢所ヲ供スルヲ怠タリ。若クハ之ヲ供

船舶ハ官吏  
ヲ臨監セシ  
メンカ為メ  
ニ「ステ」シ  
ヨ」ニ到着  
シ及監吏ニ  
房室等ヲ供  
スハキ事

官吏船舶ニ  
上監スル事

スルヲ乞フモ。之ヲ拒ハメル等アレハ。如斯  
船舶ノ長ヨリ。一百圓以下二十五圓以上ノ罰  
金ヲ徴收ス。

第二十一條

税關ノ該當吏員ハ。日本國諸港

灣ニ進入スル諸船舶軍艦ヲ除クニ上リ。之ヲ監視

スルヲ得。且其裝載セル諸貨物ヲ。其船舶ヨ

リ投陸シ了ルマテ。自由ニ其船中ニ留監スル

ヲ得。而シテ艙口ヲ閉鎖シ。記號ヲ附シ。點印

シ。又船貨ヲ投陸スル前ニ。之ニ記號ヲ附シ。之

ヲ検査シ。鎖鑰シ。封印シ。其貨物ヲ別所ニ移轉

セシメサル等ノ權ヲ以テ。船舶内ノ何等ノ部

分ニモ自由ニ入ルヲ得ヘシ。又櫃箱等。既ニ

閉鎖スト雖。未ヲ鍵鑰ヲ施サ。ルニハ。大

監吏以上ノ吏員ナレハ。其權力ノ及フ所ノ適

方法ヲ以テ。之ヲ開披スルヲ得。若大監吏以

下ノ吏員ナレハ。更ニ大監吏以上ノ吏員ニ詢

リ。同上ノ處置ヲナスヲ得ヘシ。又如斯吏員

ハ。諸船舶内ニ於テ隱匿セル貨物ヲ發見スル

片ハ。直ニ之ヲ沒收スルヲ得ヘシ。又如斯吏

員。船貨ヲ緘鎖シ。記號ヲ附セシ後。其貨物ヲ交

輸入貨物ヲ  
投陸スル時  
期及場所ノ  
事

付セサル前。故ラニ之ヲ開披シ。改易シ。毀却シ。  
密ニ別處ニ運轉シ。若クハ吏員。艙口ヲ緘鎖セ  
シ後。縦ニ之ヲ開艙スル等アルハ。如斯船長  
ヨリ。五百圓以下二百圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。  
第二十二條 日曜日如クハ其他ノ休日ニハ。  
諸船舶ヨリ諸貨物ヲ船卸シ如クハ投陸スル  
ヲ許サス。又常日ニ於テモ。第三月一日ヨリ  
第七月三十一日マテハ。午前第六時ヨリ午後  
第六時ノ間。第八月一日ヨリ第二月廿八日マ  
テハ。午前第七時ヨリ午後第五時ノ間。若クハ

税關長ノ特別ニ許允セル他ノ時間ニ非サレ  
ハ。諸貨物ヲ船卸シ如クハ投陸スルヲ許サ  
ス。又何等ノ時ヲ論セス。税關吏員ノ日前カ。  
クハ其許可ヲ得ルニ非サレハ。諸般ノ船貨ヲ  
船卸シ如クハ投陸スルヲ許サス。又租税頭  
ノ指定セル埠頭如クハ他ノ場所ヲ除ノ外ハ。  
諸貨ヲ投陸スルヲ許サス。又諸般ノ貨物ヲ  
船卸シ如クハ投陸センカ為メニ。諸舟艇ニ積  
卸セル後。税關吏員ノ准許ヲ得スシテ。復マ之  
ヲ他ノ諸舟艇如クハ船舶ニ船移スルヲ許

ト與ニ之ヲ沒收ス。何等ノ目的ヲ問ハス。諸貨物ノ  
レハ。其貨物ハ。運輸ノ為メニ用ヒタル諸舟艇  
ト與ニ之ヲ沒收ス。何等ノ目的ヲ問ハス。諸貨物ノ  
ヘシ。若如斯貨物ヲ然カク運輸シ。且投陸セシム  
投陸セント期セル處ニ運輸シ。且投陸セシム  
貨物ハ。速ニ適當ノ埠頭。若クハ其本ト同貨ヲ  
ニカ為メニ。輸入船舶ヨリ船卸スルキハ。如斯  
又諸船貨。正當ノ報告ヲナセシ後。之ヲ投陸セ  
投陸シ如クハ船移スルキハ。之ヲ沒收スヘシ。  
ト與ニ之ヲ沒收ス。何等ノ目的ヲ問ハス。諸貨物ノ

輸入ノ時及  
船舶到着ノ

第二十三條

何等ノ目的ヲ問ハス。諸貨物ノ

時ヲ定ムル  
事

輸入ニ於テ。何ノ時ヲ以テ。其輸入ノ正時ト定  
ムヘキ乎ヲ要スルアレハ。其貨物ヲ裝載セシ  
船舶。其貨物ヲ投陸スヘキ港内ニ進  
ヲ以テ。正時ト看認ムヘシ。又船舶到着ノ時ニ  
ツキ。紛議起ルキハ。港長局ニ入港報告ヲ為シ  
如クハ為スヘキ時ヲ以テ。其正時ト定認スヘ  
シ。

船長到着後  
二十四時内  
ニ船貨報告  
ヲ税関ニ出  
ス事

第六項

諸商船ノ船貨報告

第二十四條

各船舶ノ長ハ其船舶貨物ヲ装

載スルト壓艙沙石ノミナルトヲ論セス。日本

國ノ各港ニ入進下錨スルノ後。二十四時間曜日

日公祝日ヲ除ク未タ船艙ヲ發開セサル中。及税関開

廳時間ニ次下ノ書式ヲ用ヒ。船貨報告二本ヲ

作り。之ヲ其税関ニ出スヘシ。若其貨物各處ニ

於テ裝載セル者ニ係レハ。亦次下ノ書式中第

一行ニ於テ。時日ノ順次ヲ逐ヒ。各載スル所ノ



本貨ノ詳記ニ對シ。其各地名ヲ書填スヘシ。

大 補 卷

報告ノ歎欠  
ニツキ船長  
ヲ哥スル事

第二十五條

船長ハ。上ノ書式ニ記載セル細

目ニ依テ。其船舶、船貨及航海備用ノ品類ヲ詳記シ。之カ報告ヲ為スヘシ。若其書中。故ラニ之ヲ遺漏シ。若クハ故ラニ其報告文ニ載スル所ノ諸細目如クハ或ル細目ヲ偽ルアラハ。各犯ニツキ。其船長ヨリ。五百圓ノ罰金ヲ徴收ス。

第二十六條

各船舶ノ船長ハ。如斯報告ヲ行

フ片。税關長如クハ其代理人ノ要ニ應シ。船内ニ裝載セル貨物ノ送状如クハ其寫本ヲ出スヘシ。又税關長如クハ其代理人。其船

船長送状ヲ  
出シ及質問  
ニ答フル事

大 補 卷

船、船貨、水夫如クハ航海ノ次第等ニツキ。質問  
スルコトアラハ。即チ之ニ對辨スヘシ。若其質  
問ニ對ヘス。若クハ實對ヲ失シ。若クハ送状如  
クハ其寫本ヲ出ス。誤失シ。如クハ之ヲ拒  
ミ。若クハ送状如クハ其寫本ニ虚妄ノヲ録  
シ。若クハ送状ヲ出スモ。其船中ニ裝載セサル  
ノ貨物ヲ記載シ。若クハ船長ノ出セシ送状ニ。  
其名印ヲ欠キ。若クハ如斯送状如クハ寫本。其  
貨物ヲ積ノル地ヲ發锚セル前ニ之ヲ請取り  
シ者ニ非ス。若クハ如斯地ヲ發锚スル前ニ作

リシ者ニ非サル等。時况一依リ。船長ヨリ。五百  
圓以下二百圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。

第二十七條

船舶ノ長ハ。下锚時點後二十四

時以内ニ。其船籍ヲ港長局ニ預クヘシ。外國人

ハ。之ヲ自國ノ領事ニ預ケ。領事ノ證書ヲ得テ。

之ヲ港長局ニ出スヘシ。領事ノ證書ハ。其船舶

ニ從ヒ。諸手順ヲ了リ。港長局ヨリ出帆ノ免許

ヲ得テ。之ヲ其領事ニ出スニ非サレハ。敢テ船

籍ヲ還付セス。若漫ニ之ヲ還付シ。其船舶ニ關

スル負債如クハ罰金等アレハ。其負債罰金等

ハ。領事自己ヨリ之ヲ償却スヘシト云。若シ  
シ。及其船ノ噸數ヲ記シ。且捺印セシモノナリ。

若該船舶所屬國ノ領事在留セサレハ。船長ハ。

入港ノ船舶  
船籍如クハ  
領事ノ證書  
ヲ港長局ニ  
出スヘキ事

内國人同様。其船籍ヲ港長局ニ預クルヲ正當ノ規法トス。若二十四時ヲ過キ。如斯船籍如クハ證書ヲ出サ、ル片ハ。其船長ヨリ其時間ヲ過クル一時毎ニ。六十圓以下十五圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。但貨物ノ船積如クハ船卸ヲナサス。及船客ヲ上下セシメス。下錨時點ヨリ二十四時ヲ超スシテ出帆スルモノハ。之ヲ出スルヲ要セス。然レ其船長ハ。必ス上監吏員ニ其事由ヲ詳記シ及申證ヲ備フル書票ヲ出スヘシ。

第二十八條

船中闕乏ノ物品アリテ。之ヲ供給

鯨漁船困難  
船ハ船貨報  
告ヲ出スル  
ヲ要セサル  
事

給センカ為ノニ。入港スルノ鯨漁船如ノハ困難船ハ。特ニ船貨報告ヲ出スルヲ要セス。但其下錨時點ヨリ二十四時以内ニ。其船舶ノ長ハ。入港報告ヲ港長局ニ出スヘシ。且出港ノ時ハ。其起錨時點ニ先タツテ二十四時ニシテ。出港報告ヲ港長局ニ出スヘシ。然レ其船舶。賣買ノ為メ。輸入或ハ輸出品ヲ船卸シ如クハ船積セント要セハ。其船長及輸入人如クハ輸出入ハ。一般ニ高船同一ノ成規ヲ遵守スヘシ。

船貨報告ノ  
過誤脱漏ヲ  
改正スヘキ  
時期ノ事

第二十九條

船貨報告ヲ出セシ後未タ其貨物ヲ検査セサル中ニ船長自ラ其報告中ニ過誤如クハ脱漏アルヲ知リテ之ヲ更正センコトヲ乞ヒ。税關長之ヲ至當トセハ之ヲ許可スルコトアルヘシ。但検査ノ時ニ當リ船長自ラ過誤如クハ脱漏アルヲ知リ。若クハ税關吏員之ヲ檢出セシモノハ之ヲ更正スルコトヲ許サス。然レモ不意ノ疎漏其他已ムコトヲ得サル事故ニ因テ爾カク過誤如クハ脱漏セシコトヲ税關長ニ證明シ。税關長之ヲ是ナリトセハ其貨物

苞箱内ノ物  
品ヲ聞知セ  
サルコトヲ申  
報スル片ハ  
之ヲ打開シ  
及検査スル  
コトヲ得ヘキ  
事

第三十條

若船長ヨリ苞箱内ノ貨物何物タルヲ聞知セサルコトヲ報告セハ。税關吏員。船上ニ於テ其苞箱ヲ打開検査シ。若クハ打開検査センカ為メニ之ヲ税關ニ運徙スルコトヲ得。若如斯苞箱内ニ於テ制禁ノ諸貨ヲ發見スルコトアラハ。税關長時宜ニ因リ之ヲ輸出スルコト

大  
義  
省

ヲ許准シ如クハ沒收スルヲ得。

大 補 卷

第七項

輸入船ヨリ投陸シ國內用ノ為ニ引取  
ルヘキ諸貨物ノ輸入願書及價直票

第三十一條

輸入船ヨリ之ヲ投陸シ國內用

トシテ引取ルヘク期セル諸貨物ノ輸入人如  
クハ其代理人ハ其貨物ノ船卸ノ前ニ次下ノ  
書式ヲ用ヒ。且其書式ニ要スル所ノ各種ノ細  
目ヲ書填シテ。其貨物ノ輸入願書一本及寫書  
二本ヲ税關吏員ニ出スヘシ。而シテ輸入願書  
中ノ細目ハ本船ノ船貨報告ニ記載セル同貨。

國內用ノ輸  
入願書及價  
直票ノ事

及其苞箱ノ細目。及價直票中ニ記載セシ諸細目ト相符合スルヲ要ス。且輸入人如クハ代理人ハ。下ニ書載セル書式ニテ。總テ如斯細目ノ真實ヲ示セル申證ヲ作スヘシ。又諸貨物ノ輸入願書ニハ。必ス日本領事ノ證印セシ價直票ヲ添ヘ。之ヲ出スヘシ。而シテ諸價直票ハ。貨物ノ検査ヲ全了スル迄。何等ノ事故アルモ之ヲ留置スヘシ。

從價貨物ノ  
付價収税及  
詐偽ノ輸入  
願書ノ章

第三十二條

税關長ハ。輸入願書中ノ從價税

貨物ニ附セル價直。及價直票中ノ價直ヲ以テ。不當ト為シ。若クハ已ムヲ得サル事故アリ。價直票ヲ所持セス。若クハ之ヲ所持スルモ。日本領事ノ證印ナク。且記載セシ價直ヲ以テ。不當ト為ル片ハ。前六箇月間。其輸入港ニ於テ。同品同質ノ頂好貨物ニ課セシ最高税ヲ課スルヲ以テ。正當ノ規法トス。又税關長ハ。如斯貨物ノ真價直ニ付テ。其貨物ニ關涉ナキ兩商人ノ所見ヲ採リ。其付價セル價額ニ從ヒ。收税ス

ルヲ得。而シテ其價額。該輸入人如クハ代理  
人ノ申證セル原價直ヨリ超過シ。如斯商人其  
付價ノ規銀ヲ求メハ。其輸入人如クハ代理人  
ヲシテ之ニ與フヘキ規銀ヲ出サシメ。且其規  
銀ヲ償了スルマテ。如斯貨物ヲ抵當トシテ預  
置クヘシ。若兩商人。各別鑒アリテ一ナラサル  
片ハ。税關長ハ。其付價ヲ考察シ。其適價ヲ取ル  
カ。若クハ之ヲ平均シテ。其中價ヲ取テ收税ス  
ルヲ得。又税關長ハ。時況ニ由リ。貨物ニ附セ  
シ價直ヲ以テ。之ヲ買入ルヲ得。又諸輸入願

書。故ラニ虚偽ヲ作セシメノニシテ。乃之ヲ檢  
出セハ。其願書ニ名印セル一人如クハ。數人ヨ  
リ。五百圓ノ罰金ヲ徴收ス。

定額税ヲ納ムヘキ輸入願書ノ事

第三十三條 定額税ヲ納ムヘキ貨物ノ輸入  
願書ニハ。第三十一條輸入願書書式ニ記載シ  
タル諸細目ニ徇ヒ。且價直票ニ記載シタルト  
同様ニ。其斤量、尺度、箇數、價直及其計算シタル  
税金ヲ詳細ニ明記スヘシ。

無税貨物ノ願書ノ事

第三十四條 收税ヲ要セサル諸貨物ノ輸入  
人如クハ。其代理人ハ。第三十一條輸入願書ノ

税金ヲ納ムル事

同書式ヲ用ヒ。且其貨物ニ付テ所用ノ諸細目ヲ記載シ。輸入願書三本ヲ作り。之ヲ税關長ニ出スヘシ。但其願書ニハ其價直票ニ記載スル所ノ價直ヲ記載スルヲ須要トス。

第三十五條

輸入人如クハ其代理人ハ國內用トシテ引取ルヘキ諸貨物ノ輸入願書ヲ出スヤ。直ニ其願書中ニ記載セル貨物ニ納ムヘキ税ヲ將テ。之ヲ税關ノ該當吏員ニ納ムヘシ。而シテ税關長如クハ其他ノ吏員ハ其願書ニ名印シ。且其貨物ノ投陸ヲ許可セル免狀ヲ發

税關吏員貨物ヲ秤テ税額ヲ賦スル事

スヘシ。而シテ其免狀ハ甲乙ノ二様アリ。甲ノ免狀ハ其輸入檢印ヲ捺スルヤ。直ニ其貨物ヲ引取ルヲ許スモノニシテ。乙ノ免狀ハ其貨物ヲ檢査センカ為メ。税關ニ運搬セシムルヲ要スルモノナリ。而シテ免狀發出ノ片納メタル税額ハ其檢査後ニ至テ。之ヲ再算増減スルヲ得ヘシ。

第三十六條

輕重ニ應シ税ヲ課スヘキ或ル貨物ハ。税關ノ該當吏員ノ意ニテ。其貨物ノ一部如クハ數部ノ全量。及其苞箱等ヲ秤リ。之ヲ



平均シ。其全部ノ正量ヲ決定シ。其貨物ノ税ヲ課スル。正當ノ規法タリ。又一苞箱内ニ各種ノ物品ヲ雜入シ。若クハ段匹ニ滿タサレ布帛ヲ集入シ。毎品定額税ヲ配當シ易カラサルモノハ。其部類ノ税則ニ准シ。其原價ニ從テ之カ税金ヲ賦課ス。又器具如クハ細貨ノ如キ一品ニシテ二質如クハ數質ヲ兼子タル諸物品ハ。如斯物品中ノ高價ノ物品ノ税則ニ從ヒ。若クハ一品ニシテ數用ヲ為ス諸物品ハ。其高税ニ屬スル種類ノ税則ニ從ヒ。之カ税金ヲ賦課ス。

ヘシ。

第八項

税ヲ納メスシテ入庫ヲ要スル貨物ノ輸入願書

入庫ヲ要スル輸入願書ノ事

第三十七條 諸貨物ノ輸入人如クハ其代理人。最初ノ輸入願書ヲ以テ。税金ヲ納メスシテ先ツ倉庫ニ入レント要スル片ハ。則第三十一條國內用トシテ引取ルヘキ諸貨物ノ願書ト。同書式ノ輸入願書三本ヲ作り。其貨物ニ付テ所用ノ諸細目ト。其倉庫ノ名。及入庫スル人ノ名氏トヲ記載シ。之ヲ税關長如クハ税關長ヨ

入庫ノ為メ  
ニ願書ヲ出  
セシ諸貨物  
更ニ願書ヲ  
出セハ國內  
用如クハ輸  
出ノ為メニ  
引取ルヲ  
得ヘキ事

リ之ヲ受取ヘク任セラレシ吏員ニ出スヘシ。  
税關長如クハ如斯吏員ハ之ニ名印シ其入庫  
ノ為メニ一ノ免狀ヲ發スヘシ。

第三十八條

諸貨物ヲ入庫セシカ為メニ願  
書ヲ出シ及投陸セシ後縱令未タ現ニ倉庫内  
ニ移サ、ルモ其輸入人ニテ同貨物如クハ其  
幾分ヲ國內用ニ如クハ輸出ニ為メ  
更ニ正當ノ願書ヲ出セハ時況ニ由リ之ヲ引  
取ルヲ得セシムヘシ。

第九項

検査ヲ請ニカ為メニ投陸スヘキ輸入貨  
物ノ假票及其全備ノ輸入願書

第三十九條

貨物ノ輸入人如クハ其代理人  
諸貨物ニツキ充分ナル報知ナキカ若クハ事  
故アリテ其價直票ヲ附載セサルヲ以テ之  
カ正當ノ願書ヲ作ス能ハサル片ハ税關長如  
クハ其代理人ノ前ニ於テ其事實ノ申告ヲ為  
セシ後仍次下ノ書式ヲ用ヒ其中ニ示ス所ノ  
諸細目ヲ記載シテ該貨ノ苞箱或ハ其小苞ノ

貨物明白ナ  
ラサル片ハ  
假票ニテ輸  
入願ヲ為ス  
トヲ得ヘキ  
事

假票ヲ以テ。之カ願書ヲ為ス。ト得ヘシ。

假票ニテ貨物ヲ投陸スル免狀及其假票ヲ全備スル事

第四十條

上條ノ如キ假票ヲ税關長ニ出スルハ。税關長如クハ其代理人ハ。之ニ名印シ。税關吏員ノ目前ニ於テ。其検査スヘキ貨物ヲ投陸スルヲ得ヘキ假免狀ヲ發スヘシ。又輸入人ハ。之ヲ投陸スル後。未タ其貨物ヲ引取ラサル中。三箇日如クハ税關長ノ更ニ許ス所ノ延期内ニ。有税無税或ハ入庫ノ物品ヲ論セス。前條來諸貨物ノ輸入願書ニ要スル所ノ諸細目ヲ詳記シ。其全備ノ輸入願書ヲ税關吏員ニ出スヘシ。

三箇日内ニ  
全キ輸入願  
書ニ出サ、  
レハ其貨物  
ヲ税関倉庫  
ニ運入スル  
事

大藏省

第四十一條 若前ニ云フ如ク。假票ニテ投陸セル後。三箇日如クハ税関長ノ更ニ許ス所ノ延期内ニ。其貨物ノ全備ノ願書ヲ出サ、ル片ハ。税関吏員ハ。其貨物ヲ倉庫ニ移入スヘシ。又輸入人斯ノ如ク投陸セシ後。一箇月内ニ。其全備ノ願書ヲ出サス。且其税金運賃及庫租等ヲモ納メサレハ。其貨物ハ。公賣ニテ之ヲ賣却シ。其税金諸費ヲ償收シ。剩餘アレハ。之ヲ輸入人如クハ其所有人ニ還付スヘシ。若如斯貨物。國內用ト為ス可カラサルモノカ。若クハ税金ニ

充ツルニ足ラサルモノナレハ。輸出品トシテ之ヲ賣却シ。其諸費ヲ償收セシ後。仍剩餘アレハ。亦之ヲ其輸入人如クハ其所有人ニ還付スヘシ。

大藏省

第十項

日本國ニ返<sup>輸</sup>入シ如クハ再輸入スル貨物ノ輸入願書

日本國產ノ返<sup>輸</sup>入及外國產ノ再輸入ノ事

第四十二條

日本國產ノ諸貨物。日本國ニ返<sup>輸</sup>入スル片。若其貨物外國品ナレハ。輸入ノ時納税スヘキ種類及品質ノモノニ係レハ。之ヲ外國品ト看做シ。其同種類同品質ノ同税額同法率同規則同制限ヲ以テ。之ヲ處置スヘシ。又日本國ニ再輸入セル外國貨物ハ。其最初ノ輸入ニ於テ。既ニ收税スルモ。未タ收税セザルモ。皆

始メテ之ヲ輸入セシモノ、如ク。同税額同法率、同規則、及同制限ヲ以テ之ヲ處置スヘシ。

第十一項

日本政府如クハ各國公使領事等ニ屬スル物品ノ輸入願書

第四十三條

始メテ日本國ニ來着シ或ハ現

内外ノ公使領事及日本政府ノ物品無税ノ事

ニ在留スル外國ノ大使附屬官吏ヲ括ス諸公使附屬官吏ヲ括ス其他貴重ナル官

吏ノ自用品如クハ家族所用ノ物品ヲ輸入シ

其輸入人ヨリ。此等ノ物品ヲ載來リシ船。及其

品名、箇數、並ニ之ヲ引取ヘキ者ノ名ヲ記載シ

正當ノ輸入願書ヲ出シ。税關長其正實ナルヲ

ヲ視レハ。直ニ無税ニテ通關ヲ許シ。若クハ之  
ヲ預置テ。引取ルヘキ人ノ照會ヲ待テ。之ヲ交  
付スヘシ。若大使、公使等自ラ提携シ來ルモノ  
ハ。本人如クハ其屬官ヨリ。各物品ノ報告ヲ出  
スヘシ。又海外派出ノ日本帝國ノ大使、諸公使、  
或ハ諸領事、其他一切官吏ノ自用品如クハ家  
具。若クハ日本政府用ノ為メ。外國ヨリ輸入セ  
シ物品モ。其輸入人ヨリ。前記ノ願書ニ要スル  
所ノ諸細目ヲ記シタル願書ヲ出シ。税關長其  
正實ナルヲ察スレハ。亦無税ニテ之ヲ通關

セシムヘシ。然レ氏前記ノ内外各大使、諸公使、  
諸領事等ノ物品。若不用ニ属シ。即時如クハ他  
日。之ヲ賣却セント要セハ。如斯公使、領事等ハ  
其事由ヲ税關ニ報知スヘシ。而シテ税關ノ吏  
員ハ。其買主ヲシテ相當ノ税ヲ納メシムヘシ。



第十二項

輸入願書ニ關スル雜則

第四十四條 各輸入人代理人如クハ其他ノ

人。諸貨物ノ輸入願書ヲ出スニ。其記載セル貨

物ニツキ遵奉スヘキ前來ノ諸規則ニ故意違

戾シ。若クハ之ヲ失錯スルモムアリ。而シテ如

斯規則ヲ犯シタルニ適當セル罰則ノ其條款

ニ付スルヲナケレハ。概シテ一百圓以下二十

五圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。

第四十五條 前來ノ諸輸入願書中ニ全税如

諸規則ニ違戾スル罰贖ノ事

輸入願書中偽書ノ貨物

輸入願書ニ  
ハ貨物ヲ正  
當ニ書載ス  
ルニ非ナレ  
ハ正貨トナ  
スヲ得ナ  
ル事

クハ其幾分ヲ脱センカ為メニ。或ル物品ヲ偽  
リ。若クハ之ヲ遺漏シ。若クハ其箇數ヲ實記セ  
ザル片ハ。如斯物品ハ之ヲ没收ス。又定額税ニ  
屬スル貨物ノ願書中ニ。其長短、輕重、如クハ量  
目ヲ減書セル如キ。其過分ニハ。定則倍三ノ  
税ヲ増課スヘシ。

第四十六條 諸貨物ノ輸入願書ニハ。貨物ノ  
名目、品種、税額、及其輸入シ得ル所ノ實況ヲ正  
當ニ書載スルニ非ナレハ。之ヲ的確ノモノト  
看認ヘカラス。

苞箱内ニ匿  
藏シ如クハ  
輸入願書ヲ  
出サス引取  
リタル貨物  
ハ之ヲ没收  
スル事

第四十七條 輸入願書及免状ヲ以テ。諸苞箱  
如クハ小苞ヲ投陸セシニ。其内ニ税關吏員ヲ  
欺瞞センカ為メニ。諸般ノ工夫ヲ設ケテ。諸貨  
物如クハ其他ノ諸品ヲ匿藏シ。如クハ固封セ  
シテ發見セハ。如斯苞箱如クハ小苞。及總テ  
其之ヲ包ミタル品物マテ。併セテ之ヲ没收ス。  
又未タ正當ナル願書ヲ為サ、ル諸貨物ヲ。諸  
船舶如クハ倉庫ヨリ取出シ如クハ引取ル片  
ハ。亦其本貨ヲ没收ス。但旅客ノ什具ハ。其願書  
ヲ要セス。只租税頭ノ指令セル規則ニ從ヒ。之

大藏省

大藏省

ヲ検査シ。投陸シテ受取ルヲ得セシム。然レ  
氏其投陸前如クハ投陸後ニ於テ。若其中ニ禁  
制品如クハ有税品ノ匿藏スルアレハ。其本物  
ハ之ヲ包ミシ一部分内ノ他物ト俱ニ之ヲ没  
收ス。

第四十八條

輸入人、所有人、如クハ受托人ニ  
代テ。諸貨物ノ輸入如クハ旅具ノ投陸等ニ于  
セル事務ヲ執行シ。營業スル辨理人ハ。税關長  
ノ許可ヲ經ルヲ要スル津港ニ於テハ。其許  
可ヲ受クヘシ。若未タ其許可ヲ經ス。若クハ既

許可ナキ代  
理人如クハ  
無權ノ衆人  
ニハ貨物ノ  
輸入願書ヲ  
為スルヲ許  
サ、ル事

代理人ハ委  
任状ヲ出ス  
ハキ事

ニ其許可ヲ受ケシ者ヨリ指令ヲ受ケタル書  
記如クハ代理人ニ非ス。若クハ既ニ其許可ヲ  
受ケシ者ヨリ指令ヲ受ルモ。其貨物ノ輸入人  
所有人、如クハ受托人ヨリ。之カ為メ正當ニ委  
托セサルモノ等ニテ。其貨物ノ輸入願書ヲ為  
ス片ハ。如斯各人ヨリ。如斯各犯ニツキ。一百圓  
ノ罰金ヲ徴收ス。

第四十九條

或ル人或ル他人ニ代リテ。輸入  
願書ヲ取扱ハンヲ税關長ニ請求スルヲア  
ラハ。税關長ハ。斯ク請求スル人ヲシテ。其請求

諸吏負ハ照  
本ヲ取ル  
ヲ得ル事

ヲ作サシムル所ノ本人ヨリ受ケタル委任状  
ヲ出サシムヘシ。而シテ其委任状ヲ出スモ。不  
正ナルトアルカ如クハ疑ハシキトアルトテ  
視察スレハ。其事務ヲ取扱フトテ拒ムノ權ヲ  
有ス。

第五十條

税關ノ吏負ハ輸入願書ヲ出セシ

時。若クハ其輸入人如クハ受託人ノ諸貨物  
引取ル前ニ。貨物検査ノ為メ。若クハ其貨物ニ  
納ムヘキ税額ヲ定ムル為メ。若クハ照本トシ  
テ之ヲ備置スル為メニ。如斯貨物ノ照本ヲ取

十四箇日  
内ニ輸入願書  
ヲ出サレ  
ハ其貨物ヲ  
税關倉庫ニ  
運移スル事

ルヲ得。而シテ其照本ハ。租税頭ノ指令スル  
所ノ方法ニ依リ。之ヲ處置スヘシ。

第五十一條

若諸貨物ノ輸入人船舶到着ノ

後。十四箇日<sup>日曜日及祝日ヲ除ク</sup>内。其貨物ノ輸入願書  
如クハ假票ヲ出サス。若クハ如斯願書等ヲ出  
スモ。十四箇日如クハ税關長ノ更ニ許セル延  
期<sup>日</sup>内ニ。其貨物ヲ投陸セサル片ハ。税關吏負ハ  
其貨物ヲ税關ノ倉庫ニ運移スルヲ得。又十  
四箇日<sup>日</sup>内ニ。唯僅少ノ貨物ヲ船卸シ。其餘ノ貨  
物ハ。未タ之ヲ船卸セサレハ。税關吏負ハ。速ニ

之ヲ税關ノ倉庫ニ運移スルヲ得。且其他船  
中ニ存在スル諸些少苞箱如クハ其小苞ハ船  
舶到着ノ後何ノ時ヲ問ハス之ヲ税關ノ倉庫  
ニ運移スルヲアルヘシ。而シテ十四箇日內ニ  
其正當ノ願書ヲ出スマテ倉庫內ニ留置キ如  
斯日數中ハ庫租ヲ納ムルヲ要セス。若十四  
箇日後三箇月內如クハ税關長ノ更ニ許セル  
延期內ニ。斯ノ如ク税關倉庫ニ運移セル諸貨  
物ニツキ其全キ願書ヲ出サス。且其運移ノ諸  
費用及庫租ヲモ全納セサレハ。如斯貨物ハ之

大痛卷

ヲ公賣シ其代價ヲ以テ先ツ其運輸賃及諸費  
用ヲ償ヒ。次ニ其税金ヲ収メ。若其剩餘アレハ  
其請求ヲ待テ其所有人ニ交付スヘシ。然レモ  
若如斯貨物如クハ其幾分腐敗性ノモノナレ  
ハ。税關長ハ速ニ之ヲ公賣シ。同上ノ方法ヲ以  
テ其代價ヲ支用スルヲ得。若其輸入船。避病  
規程ニ従フヘキモノニ係レハ。此條ノ趣旨ノ  
為メニ。輸入願書ヲ出シ。且投陸スヘキノ時限  
ハ。其船舶避病規程ヲ過キシ時ヨリ。之ヲ算起  
スヘシ。若其送狀面ニ。入港報告後十四箇日ヨ

大痛卷

諸貨物十四箇日外船舶上ニ存在スル片ハ其保

リ早キ時期ヲ以テ。其船貨如クハ其幾分ア船卸スヘキヲ記載シアリ。而シテ却テ如斯貨物ノ輸入人、所有人、受託人如クハ此等ノ代理人ニテ。其明記セル時期内ニ。同貨ノ願書ヲ出シ。且投陸スル下ヲ怠慢スル片ハ。其船舶ノ船長如クハ代理人。其明記スル所ノ期滿レハ則直ニ該貨ノ願書ヲ出シ。且投陸スル下ヲ得シ。

第五十二條

船舶ノ入港報告後。十四箇日外。

若クハ税關長ノ更ニ許ス所ノ延期外ニ。猶諸

護ノ費用ヲ償了スルニテハ出港免状ヲ與ヘザル事

貨物ノ船舶上ニ存在スルアレハ。税關吏員ハ其貨物ノ保護ヲ為スヘシ。而シテ其船長ハ其貨物保護ノ諸費用ノ為メ。一人毎ニ。一日一圓ニ過サル金額ヲ償フヘシ。若税關吏員該貨物如クハ其幾分ヲ倉庫ニ運移セシテアレハ。然カク運移セシ諸費用モ。亦之ヲ償フヘシ。而シテ其如斯金額諸費用ヲ償了スルマテ。港長局ノ吏員ハ。出港免状ヲ其船舶ニ付與セザルヘシ。

第十三項

航海中損傷ヲ被リタル貨物ノ減税

第五十三條

日本國ニ輸入セル諸貨物ニツ

イテ減税ヲ請ント要スル者ハ税關ニ於テ該

貨ヲ検査スル時ヲ期シ未タ之ヲ其所有人如

クハ受托人ニ交付セサル中ニ豫メ其願書ヲ

出スヘシ而シテ其損傷ハ其貨物ヲ輸入船舶

ニ装載シテ後日本國ニ投陸スル前ニ之ヲ被

受セシヲ税關長ニ證明シ税關長之ヲ是ナ

リトスルニ非ラレハ敢テ之カ減税ヲ許サス

損傷貨物減  
税ノ事

又海上ヨリ如クハ海上ニテ他ノ破船ヨリ撈  
 取セシ諸貨物ヲ。日本國ニ漕致セシ片ハ其貨  
 物ハ日本國ノ生産力如クハ製造タル。及同  
 貨物無税タルヘク。若クハ納税スヘキモ。如斯  
 損傷ニテ減税ヲ得ヘキモノタル。テ證明シ  
 税關長之ヲ是ナリトスルニ非サレハ。皆其同  
 種貨物ノ日本國ニ輸入スル時ニ納ムルノ同  
 税ヲ課スヘシ。又輸入人ノ申告セル損傷本貨  
 物ヲ検査シ。略相當ナレハ。其損傷ノ多寡ハ。税  
 關吏員ニテ之ヲ勘定スヘシ。然レモ其相當

ラサルカ。若クハ其損傷ノ多寡ニツキ。或ル疑  
 ヲ生スル片ハ。税關長ハ。如斯貨物ニ干係ナキ  
 兩商人ヲシテ。該貨物。如斯損傷ヲ受ケ。其價直  
 幾許ヲ減少セシ。ヲ勘定セシメ。且其名印セ  
 ル證票ヲ出サシメ。而シテ原ト之ニ課スヘキ  
 税額ノ四分ノ三ニ過サル減税ヲナス。ヲ得。  
 然レモ烈酒、穀物、食物、粉類、卓用食貨、砂糖、麥酒  
 及葡萄酒ノ損傷ニハ。一切減税ヲ許サス。



第十四項

諸貨物ノ船積船卸投陸検査及入庫

第五十四條

諸貨物ヲ船積シ、船卸シ、運漕シ、

投陸シ、之ヲ検査スルニ適宜ノ場所ニ搬致シ、

之ヲ權衡ニ挂ケ、之ヲ開封開苞シ、再封再束シ、

點檢シ、分開シ、引取り了ルマテ、之ヲ適宜ノ置

場ニ運移シ、<sup>若</sup>クハ其場所ニ積置ク等、税關長

之ヲ要スルコトアレハ、其貨物ノ各輸出人如ク

ハ輸入人、其費金ヲ以テ、之ヲ行フヘシ。

第五十五條

輸入人如クハ受託人、税關吏員

貨物ノ船積  
船卸等ハ所  
有人ノ費金  
ヲ以テ之ヲ  
行フヘキ事

免許ナク運  
移スル貨物

ヲ没収スル  
事

ノ監視如クハ許可ヲ受クルニ非スシテ。諸貨物ヲ税關吏員ノ未タ検査セサル中ニ。船舶、海濱、埠頭、上屋、倉庫、如クハ其他ノ場所ヨリ運移シ。若クハ入庫願書ヲ出シ。其諸貨物ヲ税關吏員ノ許可如クハ監視ヲ受ケサルニ。之ヲ運移シ。若クハ如斯吏員ノ指令セル方法ニ依ラス。且指令セル時間内ニ。其指令セル道路ニ由ラスシテ。諸貨物ヲ運移スル片ハ。如斯貨物ハ。之ヲ没収ス。

税關吏員入  
庫貨物ノ細

第五十六條

輸入人如クハ受託人。入庫貨物

目ヲ書取ル  
事

ノ輸入願書ヲ出シ。該貨物ヲ投陸スル片ハ。税關吏員ハ。税關長ノ指令セル時間内ニ。然ク投陸スル海濱、埠頭、如クハ上屋ニ於テ。其細目ヲ書取ルヘシ。又倉庫内ニテ。其細目ヲ書取ルヲ許ルセシ貨物ハ。其倉庫内ニ於テ。之ヲ書取ルヲアルヘシ。而シテ如斯各時況ニ於テハ。其細目ヲ書取リタル苞箱上ニ。其中ニ蓄ヘタル品質計數及其貯藏ノ時期ヲ細記シ。且之カ為メニ備ヘタル帳簿ニ。其輸入船舶ノ名、入庫スル者ノ名氏、貯藏ノ日時、該貨物ノ品種、各苞箱

ノ記號、番號、各苞箱内ノ計數、且之ヲ積置ノ倉庫如クハ其倉庫内ノ場所ヲ詳記スヘシ。又如斯貨物ヲ入庫シ了レハ。税關吏員ハ其貨物ノ願書及入庫ヲ全了セシヲ保證ス。而シテ如斯貨物ハ之ヲ是時ヨリ入庫セル者ト看做スヘシ。若如斯貨物ヲ其該當ナル吏員ノ未タ検査保證セサル中ニ。其検査場ヨリ引取り、引去リ如クハ移置スルヲアレハ。正當ニ願書ヲ出サス。及正當ニ入庫セサルモノト看做シ。之ヲ沒收ス。

投陸ノ時ノ細目ニ從テ其税ヲ納ムヘキ事

第五十七條

上條ノ如ク書取タル諸貨物ノ算計ハ。正當ノ出庫願書ヲ出シ。之ヲ引取ラントスル時。其貨物ニ納ムヘキ税額ヲ算出スルノ本計タルヘシ。而シテ該貨物ノ所有人ハ。此算計ニ登記セル量數ニ從テ。之カ全税ヲ納メ。不足アルモ。為メニ減税ヲ乞フ可カラズ。

第五十八條

輸入人如クハ受托人。諸貨物ヲ入庫スル時ハ。其輸入セシ苞箱ノ儘ニテ。之ヲ積置クヘシ。但其投陸後。開封、開苞、如クハ再封、再苞スルヲ許可セシ貨物ハ。税關吏員ノ入量

入庫貨物ハ原苞箱如クハ細目ヲ書取タル儘ニテ之ヲ積入ルヘキ事

税關長某貨物ヲ再苞シ得ヘキヲ指令スル事

ヲ算定セシ苞箱ニテ之ヲ積入ルハシ。若如斯貨物ヲ然クシテ積入レス。若クハ之ヲ引取ニ。適當ノ證票ヲ以テセス。若クハ該當吏員ノ監視如クハ許可ヲ經スシテ。然ク積入レタル貨物如クハ其苞箱ヲ變易シ。若クハ該貨物ヲ積入レル倉庫如クハ其房室ヨリ。如斯吏員ノ監視許可アラサルニ。之ヲ移轉スルハ其貨物ヲ沒收ス。

第五十九條

税關長ハ某貨物ヲ某處ニテ再

包シ得ヘキヲ指令シ。及其貨物ハ其投陸ヨ

リ幾時間内ニ。某約束ヲ以テ之ヲ再苞シ得ヘキヲ決定スルノ權ヲ有ス。

第六十條

輸入人如クハ受托人。入庫願書ヲ

出セル諸貨物ヲ。法ニ依リ入庫セス。若クハ法ニ依リ入庫スレバ。詐偽ヲ以テ之ヲ匿隱シ。若クハ詐偽ヲ以テ之ヲ倉庫ヨリ運出シ。若クハ品物ヲ苞箱ヨリ枝取り。若クハ甲ノ苞箱ヨリ乙ノ苞箱ニ品物ヲ移易シ。若クハ匿隱ノ目途ヲ以テ之ヲ運轉シ。其他一切不法ニ之ヲ轉移スルハ其貨物ハ之ヲ沒收ス。

正當ニ入庫セズ詐偽ヲ以テ匿藏シ如クハ運移スル貨物ヲ沒收スル事

入庫貨物ノ輸  
入人如クハ所  
有人竊ニ其貨  
物ニ迎接スル  
罰贖ノ事

出庫願書ノ  
事

第六十一條

入庫貨物ノ輸入人、所有人如ク  
ハ其使用セル人。税關ノ該當吏員ノ監視セサ  
ルノ際、竊ニ其倉庫ヲ開キ、其貨物ニ迎接スル  
了アレハ、如斯輸入人如クハ所有人ヨリ、時  
況ニ依リ、五百圓以下二百圓以上ノ罰金ヲ徵收  
ス。

第六十二條

諸貨物ノ輸入人、受托人如クハ  
所有人、入庫貨物ヲ出庫セント要セハ、次下ノ  
書式ヲ用ヒ、同貨物ヲ入庫セシ時、書取リシ諸  
細目ヲ書填シ、入庫出庫ノ年月日、税額、庫租ノ

計算ヲ詳記シ、出庫願書二本ヲ作り、之ヲ税關  
長ニ出シ、且同時ニ税金及庫租ヲ納ムヘシ。而  
シテ税關長如クハ其代理人ハ、之ヲ倉庫帳簿  
ニ照シ、之ニ名印シ、出庫ノ免狀ヲ發スヘシ。

出庫願書ヲ出  
サス倉庫ヨリ  
取出タセシ貨  
物ハ之ヲ没收  
スル事

第六十三條

諸貨物ノ輸入人、受托人、如クハ

所有人、正當ノ出庫願書ヲ出サスシテ、諸貨物  
ヲ倉庫ヨリ運出スレハ、如斯貨物ハ、之ヲ没收  
ス。又正當ノ願書ヲ出サス、及納稅セスシテ、諸  
貨物ヲ然カク運出シ、或ハ之ニ助力シ、或ハ之  
ニ干連セル者、若クハ正當ニ入庫セル、或ル貨  
物ヲ故意ニ減却セル者ヨリハ、時況ニ依リ、五  
百圓以下二百圓以上ノ罰金ヲ徵收ス。若稅關  
吏員、如斯諸不正ヲ犯シ、如斯貨物ノ輸入人、受  
托人、如クハ、所有人ヨリ追究セラレ、服罪スル

大藏省

大藏省

其貨物ニハ。一ノ稅ヲモ課セサルヘシ。而シテ如斯費耗。二由テ起レル損害ハ。稅關長ニテ之ヲ其輸入人、受托人如クハ所有人ニ償還スヘシ。

第六十四條

稅關長ハ貨物ノ輸入人、輸出人、所有人如クハ受托人ノ為メニ。火災、地震、兵燹、暴風、霖雨、自然ノ濕氣、鼠傷、如クハ破屋等。其他非常ノ變故ニ因テ。倉庫如クハ他所ノ貨物上ニ生スル。或ル損害ヲ賠償セサルヘシ。

第六十五條

既ニ入庫セシ貨物。若クハ入庫

火災等ニテ損傷セシ貨物ノ所有人ハ賠償ヲ得ヘカラサレ事

紛失或ハ滅却セシ貨物ニハ

諸稅ヲ免スルヲアルヘキ事

スヘク願出セル貨物。若クハ出庫スヘク願出セル貨物。若クハ入庫セシテ。直ニ國內用トシテ引取ルヘク願出セル貨物。若クハ輸出ノ為メニ。船積スヘク願出セル貨物。若クハ諸般ノ目途ヲ以テ。稅關構内ニ積置カント願出セル貨物等。若クハ船上ニ於テ。若クハ之ヲ投陸スル際ニ於テ。若クハ之ヲ船積スル際ニ於テ。若クハ之ヲ上屋如クハ倉庫ニ入ル、ノ際ニ於テ。若クハ上屋如クハ倉庫中ニ於テ。避カタキ非常ノ事故ニ由テ。紛失。如クハ毀滅セシ件ハ。

税關長ハ時宜ニ由テ其納ムヘキ税金ヲ免シ  
若クハ收了シタル税金ヲ返却スル丁アルハ  
シ

第十~~四~~五項

入庫シタル貨物ノ運移

第六十六條 日本國內ノ甲港ニ入庫シ置キ

タル貨物ヲ日本ノ乙港ニ轉移シ再入庫セン

ト要セハ其轉移ヲ要スル本人ハ次下ノ書式

ニ依テ入庫セシ人ノ名氏入庫セシ年月日轉

移スヘキ貨物ノ細目及同貨物ヲ轉移スヘク

期スル所ノ港名ヲ記載シ轉移願書ヲ作り之

ヲ甲港ノ税關吏員ニ出シ而シテ其税關長ノ

指令セル規則ニ從ヒ及其指令セル保證ヲ立

甲港ヨリ乙港  
ニ入庫貨物ヲ  
運移スル事



レハ。海上内地ノ論勿ク。其貨物ヲ乙港ニ運輸  
スルコトヲ得ヘシ。又如斯諸手續ヲ經レハ。其要  
スル所ニ仕セ。幾回モ更ニ他港ニ運移シ。再入  
庫スルコトヲ得ヘシ。

甲港ノ官吏ノ  
乙港ノ官吏ニ  
貨物ノ細目ヲ  
記セル送票ヲ  
贈ルヘキ事

第六十七條 或ル貨物ノ轉移ヲ許シ。之ヲ交付  
スルハ。其轉移スル甲港税関吏員ハ。其細目  
ヲ記シタル送票ヲ。其轉移ヲ要スル本人ニ付  
シ。送致スヘキ乙港ノ税関吏員ニ贈投スヘシ。  
而シテ其本人ハ。甲港税関ニ如斯貨物ニ課ス  
ヘキ全税ヲ假納シ。其税関長ノ指令スル所ノ  
時期内。乙港ニ到着シ。其貨物ヲ乙港税関吏員  
ニ出シ。而シテ正當ニ再入庫シ了リシコト。若ク  
ハ時宜ニ由リ。之ヲ輸出セシコトヲ證セシ乙港  
税関吏員ノ證票ヲ得テ。之ヲ携来スヘシ。否ラ

サレハ其貨物ハ。國內用トシテ賣却セシモノ  
ト看做シ。其假納税ハ。實ニ納メシ本税ノ如ク  
之ヲ處置スヘシ。

乙港ニ到ル看セル  
貨物取扱ノ事

貨物乙港ニ到  
着セシ後輸出  
如クハ國內用ノ  
為メニ願書ヲ為  
スルヲ得ル事

第六十八條 如斯貨物。乙港ニ到着セハ。最初之  
ヲ輸入セシキ。之カ願書ヲ出シ。及入庫ヲ為ス  
ニ當テ遵奉スヘキ方法、法率、規則ニ從ヒ。其貨  
物ノ願書及入庫ヲ為スヘシ。

第六十九條 轉移貨物。乙港ニ到着シ。再入庫ノ  
願書ヲ出シ。及検査ヲ受ケタル後。現ニ貨物ヲ  
入庫ス。直ニ之ヲ輸出シ。若クハ國內用ノ為メ  
納税セシトシテ要スルキハ。税関吏員。如斯貨物  
ヲ検査シ。甲港税関ノ送票ヲ檢閲シ。正ニ符合  
スレハ。輸出ノ願書ヲ出シ。船積スルヲ許シ。

若クハ至當ノ税ヲ納メ。國內用ノ願書ヲ出ス  
トテ許スヘシ。而シテ如斯諸貨物ハ。正當ニ其  
倉庫ヨリ運出セシモノト看做スヘシ。若其貨  
物ヲ検査シ。送票ト照合シ。多少減失アレハ。其  
減失セシ貨物ハ。國內用ニ充テシモノト看做  
シ。其税ヲ收課ス。

第七十條 入庫貨物ノ所有人如クハ「プロ  
ライエトル」ハ。之ヲ入庫セシ日ヨリ。一箇年間  
即十二箇月。如クハ税関長ノ更ニ許ス所ノ延期内  
ニ於テ。必ス國內用如クハ輸出ノ為メニ。之ヲ

入庫貨物一箇  
年間ニ出賃セ  
サレハ再入庫ノ  
事  
手順。為スヘキ

出庫スヘシ。若再入庫ヲ乞フ片ハ。税関吏員。之  
ヲ検査シ。最初ノ入庫方法ニ依テ。其所有人如  
クハ「プロライエトル」ノ名目ヲ以テ。之ヲ再  
入庫スルヲ許ス。

第七十一條 入庫貨物。其入庫セシ月時ヨリ。一  
箇年間。即十二箇月。如クハ税関長ノ更ニ許セル延  
期内ニ於テ。正當ニ出庫セス如クハ再入庫セ  
サル片ハ。其所有人如クハ「プロライエトル」  
ニ報知シ。且新聞紙ヲ以テ公布シ。一箇月間掲  
示スルノ後。相當ノ時期ヲ以テ。公賣ニテ之ヲ

一箇年後ニ出庫  
セサル貨物ハ之  
ヲ賣却スル事

倉庫内ノ貨物ハ  
一定ノ規則ニ從ヘ  
ハ之ヲ取出シ得ル  
事

賣却シ。而シテ其代價ハ。先ツ庫租及報知公布  
ノ諸費。其他一切ノ諸雜費ニ充テ。次ニ其税額  
ヲ償却シ。剩餘アレハ。其所有人「プロプライエ  
トル」如クハ其代理人ノ請求ヲ待テ。之ヲ還付  
スヘシ。

第七十二條 入庫貨物ノ所有人如クハ「プロ  
プライエトル」ハ。税関長ノ指令スル時期内。及其  
要スル數量ニ於テ。其規則及制限ニ從ヒ。且之  
ヲ正當ニ復入庫スル為メ。及其税金ヲ償フ為  
メニ。之カ證人ヲ立テ。保證票ヲ出セハ。其照本

ヲ倉庫ヨリ運出スルヲ得ヘシ。

第十~~四~~六項

國內用~~或~~ハ輸出諸貨物ノ出庫願書

第七十三條

國內用ノ為メ。既ニ入庫セシ貨

物ヲ出庫セント要セハ。以下ノ書式ヲ用ヒ。其

貨物ノ諸細目等ヲ詳記シ。出庫願書二本ヲ作

リ。之ヲ稅關ノ該當吏員ニ出シ。又同時ニ稅關

吏員ノ原ト算セシ量數ニ從ヒ。其全稅ヲ納メ。

且其庫租ヲ納ムハシ。然レモ最初輸入願書ヲ

出シ。之ヲ投陸セシ時。稅關長ノ免許ヲ以テ。既

ニ稅金ヲ納ノタルモノハ。再ヒ稅金ヲ納メサ

國內用貨物ノ  
出庫願書及納  
稅ノ事

ル。固ヨリ論ヲ俟タサルナリ。

大藏省

輸出貨物出庫ノ事

第七十四條 入庫ノ諸貨物ヲ輸出セント要

スル者ハ。次下ノ書式ヲ用ヒ。出庫願書二本ヲ  
出シ。庫租ヲ納メ。税關長ノ許可ヲ得。該當吏員  
人監視ヲ受ルニ非レハ。之ヲ其倉庫ヨリ運出  
スルヲ許サス。

大藏省

第十七項

諸貨物ノ輸出願書及船舶ノ載貨目錄

第七十五條

各船舶ノ船長如クハ其代理人

船舶ヲ海外へ出帆セシメント要スルハ輸

出貨物ヲ船中ニ裝載スル前ニ出港報告ヲ港

長局ニ出シ且同時ニ税關吏員ノ證セシ清船

票清船票ハ原ト投陸セシテ船中ニ積載セシ貨物ヲ或ル室屋ニ保收シ了リシヲ記

セシモノヲ税關長如クハ他ノ税關吏員ニ出ス

ハシ若船舶清船票ヲ出サハル中ニ或ル貨物

ヲ裝載シ如クハ裝載セシ丁ヲ計レハ如斯船

松長ハ清船票ヲ出スヘキ事

輸出願書ノ事

長ヨリ。五百圓以下至百五十圓以上ノ罰金ヲ  
徴收ス。

第七十六條

諸貨物ヲ輸出センコトヲ要スル  
輸出人如クハ其代理人ハ之ヲ船積シ如クハ  
運漕スル前ニ次下ノ書式ヲ用ヒ其中ニ要ス  
ル所ノ諸細目ヲ書填シ其貨物ノ輸出願書一  
本及寫書二本ヲ税關吏員ニ出スヘシ而シテ  
其願書中ノ細目ハ價直票ノ諸細目ト相符合  
スルコトヲ要ス其他申證ヲ作シ價直票ヲ留置  
スル等第三十一條輸入願書ノ規則ニ同シ。

從價貨物ノ付  
價收税及詐偽  
ノ事

第七十七條

税關長ハ輸出願書中從價稅貨  
物ニ附セル價直及價直票中ノ價直ヲ以テ不  
當ト為スルハ其港ニ於テ前六箇月間同品ノ  
頂好貨物ニ課セシ最高稅ヲ課シ若クハ兩高  
人ノ付價ニ從ヒ收稅シ其他付價規銀ヲ出サ  
シノ貨物ヲ預置シ付價ノ適價ヲ取リ若クハ  
其中價ヲ取り貨物ヲ買入レ輸出人ニ罰スル  
等皆第三十二條輸入願書ノ規法ニ據ル。

第七十八條

定額稅貨物ノ輸出願書ニ記載  
スヘキ諸細目ハ第三十三條輸入願書ノ規法

定額稅ヲ細ム  
ヘキ願書ノ事



ニ同シ。

第七十九條

納稅ニ屬セサル貨物ノ輸出人如クハ其代理人ハ第七十六條ノ輸出願書ノ書式ヲ用ヒ其貨物ノ諸細目ヲ詳記シ輸出願書三本ヲ作り之ヲ稅關長ニ出スヘシ且其願書ニハ其價直票ニ記スル所ノ價直ヲ載ス。

第八十條

輸出人如クハ其代理人其貨物ノ輸出願書ヲ出スヤ直ニ其願書中ニ記載セル貨物ノ稅金ヲ將テ之ヲ稅關吏員ニ納ムヘシ。

而シテ稅關長如クハ其代理人其願書ニ名印シ。及檢查吏員其貨物ヲ檢查シ其稅ノ當否ヲ察シ亦其願書ニ名印シ。而ル後如斯貨物ノ積ヲ許可スル免狀ヲ出スヘシ。

第八十一條

如斯免狀ヲ得テ貨物ヲ船積セシ後其船舶事故アリテ之ヲ他船ニ積移シテ要セハ輸出人如クハ其代理人ハ更ニ積移ノ免狀ヲ請フヘシ。若一時如斯貨物ヲ投陸セント要セハ其貨物ハ之ヲ稅關ノ倉庫ニ納置スヘシ。

船用ノ石炭及薪油ノ船積

第八十二條

蒸氣船用ノ石炭ヲ船積セント要セハ。如斯船長ハ。其石炭ノ噸額一晝夜ニツキ。其船噸ノ百分ノ一半ニ過キタル額ニ於テ。其船ノ大小。及船ヲ航スヘキ海路ノ遠近。及航海日數ヲ詳記シ。輸出願書ヲ作り。之ヲ税関ニ出スヘシ。税関長之ヲ至當トセハ。無税ニテ之ヲ船積スル丁ヲ得セシム。若如斯石炭。如斯噸額ニ過キタルモノニハ。至當ノ税金ヲ課スヘシ。又諸船用ノ薪炭油。或ハ食料ニ充ル諸物品ノ輸出願書ヲ出シ。税関長之ヲ至當トセハ。

外國ノ物返輸出ノ事

第八十三條

日本國ヨリ外國ニ返輸出セル亦無税ニテ之ヲ船積スル丁ヲ許ス。

日外諸公使等物品無税ノ事

第八十四條

内外ノ大使。附屬官吏。諸公使。附屬官吏。諸領事。高業ヲ營ム者ヲ除ク。如クハ高貴官吏。海外出帆ニ際シ。自用品如クハ家族用品ヲ輸出セシト要シ。本人如クハ属官。其品名及箇數ヲ詳

船積ノ時期及  
場所ノ事

記シ之ヲ報告ヲ為シ。税關長其正實ヲ認レハ。無税ニテ通関ヲ許ス。又日本政府用ノ物品モ。正當ノ報告ヲレハ。亦無税ニテ通関ヲ許スヘシ。

第八十五條

諸貨物ヲ輸出スルニ。日曜日如クハ祝日。又常日モ。第三月一日ヨリ第七月三十一日マテハ。午前第六時ヨリ午後第六時ノ間。第八月一日ヨリ第二月二十八日マテハ。午前第七時ヨリ午後第五時ノ間ノ外。若クハ税關長ノ指令スル所ノ他ノ時間ノ外ハ。之ヲ船

積ノ如クハ水漕ス可カラス。又税關吏員ノ監臨如クハ許可ヲ得ルニ非サレハ。之ヲ船積シ水漕ス可カラス。又租税頭ノ許可ヲ與ヘシ場所。埠頭ノ外。若クハ税關長ノ特許ヲ與ヘシ場所ノ外。之ヲ船積シ水漕ス可カラス。又或ル貨物水漕後。船積前。税關吏員ノ許可ナク。之ヲ他ノ舟艇ニ船移シ運移スヘカラス。若此等ノ法則ニ違犯シ。諸貨物ヲ船積シ如クハ水漕シ船移セハ。如斯貨物。之ヲ没收ス。又正當ノ輸出願書ヲ出サス。免狀ヲ受ケヌシテ。之ヲ船積シ水漕シ

積ノ如クハ水漕ス可カラス。又税關吏員ノ監臨如クハ許可ヲ得ルニ非サレハ。之ヲ船積シ水漕ス可カラス。又租税頭ノ許可ヲ與ヘシ場所。埠頭ノ外。若クハ税關長ノ特許ヲ與ヘシ場所ノ外。之ヲ船積シ水漕ス可カラス。又或ル貨物水漕後。船積前。税關吏員ノ許可ナク。之ヲ他ノ舟艇ニ船移シ運移スヘカラス。若此等ノ法則ニ違犯シ。諸貨物ヲ船積シ如クハ水漕シ船移セハ。如斯貨物。之ヲ没收ス。又正當ノ輸出願書ヲ出サス。免狀ヲ受ケヌシテ。之ヲ船積シ水漕シ

船移スルキハ。其貨物。其運輸ニ使用スル諸  
舟艇ト共ニ。之ヲ没收スヘシ。又税関該當吏貞  
ハ。如斯貨物ノ諸苞箱ヲ開發シ。或ル地所ヨリ  
船積セル諸貨物。若クハ船積ノ為メ運着セル  
諸貨物ヲ。詳細檢索スルヲ得ヘシ。

第八十六條

各船舶ノ長ハ。其出帆ニ先ツテ。

二十四時前ニ。次下ノ書式ヲ用ヒ。原ト投陸セ  
サル貨物。及新ニ裝載セシ貨物ヲ詳記シ。其他  
一切ノ諸細目ヲ記シ。輸出願書ト照シ。載貨目  
録ニ本ヲ作り。政府如クハ地方官ニ納メタル

諸税アレハ。其領收書ヲ併セテ。之ヲ其税関ニ  
出シ。税関ヨリ諸手續ヲ全了セシ證書ヲ請テ。  
之ヲ港長局ニ出シ。出港免狀ヲ請フヘシ。又税  
關吏貞。其船舶。船賃水夫等ニツキ。質問スルコ  
トアレハ。即チ之ニ對辨スヘシ。又其目錄中。故  
ラニ諸細目ヲ偽ル等ノ事アレハ。第二十五條  
船賃報告ノ如斯事件ニ要スル所ノ諸法則ヲ  
以テ。之ヲ處置スヘシ。

第十八項

輸出願書ニ關スル雜則

諸規則 遵奉  
セザル罰賍ノ  
事

第八十七條

諸貨物ノ輸出人、代理人、如クハ

其他ノ人、輸出願書ヲ出シ、故ラニ諸規則ヲ遵

奉セズ、若クハ之ヲ失錯シテ、其犯罪ニ決定ノ

罰則ナキモノハ、時況ニ依リ、一百圓以下二十

五圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。

第八十八條

諸輸出願書中ニ全稅如クハ其

幾分ヲ脱セシカ為メニ、貨物ヲ偽書シ遺漏シ

若クハ箇數ヲ實記セス、又定額稅貨物ノ輕重

輸出願書中偽  
書ノ貨物處置  
ノ事

輸出願書ニハ  
貨物ヲ正當ニ  
記載スヘキ事

苞箱内ニ匿藏  
シテハ免状  
ナクシテ水運  
セシ貨物ハ之  
ヲ没收スル事

量目ヲ減書スル等ノ事マレハ第四十五條輸  
入願書ノ法則ヲ以テ之ヲ處置ス

第八十九條

諸貨物ノ輸出願書ニハ貨物ノ  
名目、品種、稅額及輸出ノ實況等其書式ヲ用ヒ  
正當ニ記載スルニ非サレハ之ヲ的確ノモノ  
ト定認セサルヘシ

第九十條

輸出免状ヲ以テ諸貨物ノ苞箱如  
クハ小苞ヲ稅關ニ運着シ而シテ稅關吏員ヲ  
欺罔セニカ為ノ諸工夫ヲ設テ苞箱如クハ小  
苞内ニ或ル貨物ヲ隱匿シ若クハ他ノ諸物ヲ

免許ヲ得サ  
代理人如クハ

第九十一條

輸出人ニ代リ諸貨物ノ輸出如

裏包シ之ヲ發見セハ其苞箱如クハ小苞ハ其  
内ノ諸物ト共ニ之ヲ沒收ス又正當ノ免状ヲ  
得スシテ諸貨物ヲ船積シ如クハ出庫スル所  
ハ其貨物ヲ沒收ス但旅客ノ什具ハ輸出願書  
ヲ出スルヲ要セス租稅頭ノ指令スル所ノ規  
則ニ從テ之ヲ檢査シ之ヲ船積スルヲ許ス  
然レモ若其船積前後ニ於テ其内ニ隱匿セシ  
制禁或ハ有稅貨物ヲ發見セハ之ヲ裏包スル  
一部分内ノ他物ヲ併テ之ヲ沒收ス

大藏省

無權ノ衆人ニ  
ハ輸出願書ヲ  
出スルヲ許サ  
ル事

代理人ハ委任  
状ヲ出スルキ  
事

クハ旅具ノ船積ニ關セル事務ヲ執行スル辨  
理人ハ第四十八條輸入願書ヲ執行フノ成規  
ニ同シ其罰則ノ如キモ亦之ニ據ル

第九十二條 或ル人ニ代テ輸出願書ヲ執行  
セシムルヲ請求スル者ハ第四十九條輸入願書  
執行ノ成規ニ同シ

第十九項  
貨物ノ沿海運輸

沿海回漕ノ貨  
物ニハ税金ヲ  
假納スヘキ事

第九十三條 日本ノ甲港ヨリ或ル貨物ヲ日  
本ノ乙港ニ回漕セント要セハ輸出人如クハ

其代理人ハ~~輸出願書~~ノ書式  
用ヒ貨物ノ細目ヲ書填シ其貨物輸出有税品  
ニ屬セハ甲港税關ニ其定則ノ税金ヲ假納シ  
輸出制禁ノ品ニ屬セハ其正當ノ代價ヲ假納  
シ且次下ノ書式ヲ用ヒ若之ヲ輸出セハ其代  
價倍三ノ罰金ヲ納ムハキノ證人ヲ立テ~~其~~

儀

證票ヲ出スヘシ。而シテ甲港税關長ハ。第十七條ノ書式ヲ用ヒ。該貨物ノ計數、**品性**、**苞箱**ノ記号、出港ノ年月日、輸入税ヲ納メシ外國品ハ。其税額ノ多寡ヲ記シ。之カ送票ヲ付與スヘシ。而シテ甲港税關長ノ指令スル所ノ日期内ニ。乙港ニ投陸シ。乙港税關長ノ投陸證書ヲ携シ來ルルハ。如斯代價如クハ假納税ハ。之ヲ其輸出入人如クハ其代理人ニ還付スヘシ。若如斯日期内ニ。如斯證書ヲ持來ラサレハ。其貨物ハ。外國ニ輸出セシモノト看做シ。其代價ヲ收

取シ。若クハ假納税ヲ以テ。本税ニ充テ。之ヲ廢置スヘシ。又無税品ト雖。之ヲ回漕スルルハ。税關長ノ許可ヲ受クルヲ。規法トス。



噸稅ノ事

第二十項

諸船舶ノ噸稅

第九十四條

各船舶ノ船長ハ此規則ノ附録

噸稅規則ニ從ヒ其船舶相當ノ噸稅ヲ納ム

シ

大藏省

大藏省

第二十一項

雜則

税関ハ午前十時ヨリ午後四時ニ至ルマテ之ヲ閉ク事

税関ノ祝日及休日ノ事

第九十五條 日本國中ノ諸税関ハ日曜日、諸祝日ヲ除クノ外、午前十時ヨリ午後四時ニ至ルマテ、事務取扱ノ為メニ之ヲ閉廳ス。

第九十六條 次下ニ舉ル所ノ日ハ祝日及休日トシテ日本國中ノ諸税関之ヲ奉シテ閉廳ス。

歳首 一月一日

元始祭 一月三日

新年宴會 一月五日

文中所用語

税関長ハ常  
外ノ事務規  
ツキテ規  
及規則ノ條  
冊ヲ草製シ  
租稅頭ノ決  
事

孝明天皇祭

一月卅日

紀元節

二月十一日

神武天皇祭

四月三日

神嘗祭

九月十七日

天長節

十一月三日

新嘗祭

十一月廿三日

煤掃

十二月廿五日

歳末

十二月卅一日

鎮守祭日

第九十七條

税関長如クハ他ノ税関吏員ニ出

ス所ノ諸文書ハ。總テ日本國語ヲ以テ。之ヲ書

スヘシ。若日本國語ヲ通知セザル者ハ。特ニ

英國語ヲ以テ。之ヲ書スルモ。亦妨ケナシ。

第九十八條

各港ノ税関長ハ。常外ニ徵收スヘ

キ規銀ニツキ。及常外ニ税関ニ於テ取扱フ事

務ニツキ。若クハ平常税関ヲ開廳セル時期外。

及日曜日、祝日ノ如キニ。船積ノ投陸如クハ。船

卸ヲ許ス。トニツキ。衆人ニテ遵奉スヘキ諸規

則ノ條冊ヲ草製シ。之ヲ租稅頭ニ上申シ。其決

租稅頭其納  
ムヘキ規銀及  
遵奉スヘキ規則  
ヲ指令スル事

稅關長郵船  
ヲ設立スル事

ヲ乞フヘシ。

第九十九條 租稅頭ハ上條ノ規銀或ハ規則ノ可  
可否ヲ斟量シ。之ヲ取捨辨定シ。且上條ノ時期ニ於テ。其事  
務ヲ取扱フヲ許サレシ衆人ヨリ納ムヘキノ規銀。及遵奉スヘキ規則ヲ審正  
スルノ權ヲ有ス。

第一百條 各港ニ於テ。稅關長ハ諸郵便船ノ荷卸及出發ヲ容易ニセシカ  
為メニ少時間ニ之ヲ執行フヘク。特別ノ規則ヲ設立シ。租稅頭ノ許  
可ヲ經テ。之ヲ施行スヘシ。

諸免狀證書  
規銀ノ事

一時投陸ノ事

第一百一條 稅關ヨリ付與スル所ノ輸出入。或ハ船移ノ免狀。其他入出庫<sup>免狀</sup>等。普通ノ書類ハ。請取書ヲ除クノ外。一通毎ニ五十錢ノ規銀ヲ収シ。健康狀其他特別ノ免狀如クハ。證書ヲ付與シ。特別ノ證書ニ檢印スルハ。總テ一通毎ニ一圓ノ規銀ヲ收ス。

第一百二條 船舶中損破ノ所アリテ。之ヲ修復セシカ為メ。其船舶ヨリ。其貨物ヲ船卸セント要スルモノハ。其貨物ノ輸入稅ヲ納ムルヲ要セス。然レ氏復之ヲ船積スルマテハ。如斯貨物

軍艦物品  
積投陸ノ事

ラ税関倉庫ニ入置キ。其之ヲ引取ルニ當テハ。相當ノ庫租ヲ納ムヘシ。且同貨物ノ運搬ハ。本人自費ヲ以テ。之ヲ執行フヘシ。

第百三條

同盟右國ノ軍艦ニ用ル所ノ物品ハ。

一切無税ニ屬スト雖也。之ヲ船積シ投陸シ。若

クハ之ヲ他船ヨリ積移サントセハ。如斯軍艦

ノ該當士官ヨリ。其物品ノ報告ヲ税関ニ出ス

トヲ要ス。

第百四條

船移免状ヲ受ケシカ為メノ諸願書

ニバ。次下ノ書式ヲ用ヒ。總テ其船移スヘキ貨

船移願書ニ諸  
細目ヲ記載スヘ  
キ事

物ノ苞箱ノ數計、記号、番号、及其貨物ノ價直。其

船移スヘキ船舶ノ号名。其貨物ヲ輸出シ来リ

シ原港如クハ場所。及同貨物ヲ送致スルノ海

港如クハ場所等ニ至ルマテ。詳ニ之ヲ記載ス

ヘシ。

免状ナクシハ  
貨物ノ船移ヲ  
許サレシ事

免状ナク船移  
スル貨物ヲ没  
収スル事

過細税運  
事

第百五條

何等ノ貨物モ。税関長ノ免状ヲ受クルニ

非サレハ。日本国中ノ或ル港ニ於テ。或ル船舶ヨ

リ他ノ船舶へ船移スヘカラス。

第百六條

税関長ヨリ免許ヲ受ケスニテ。船移

シ如クハ船移セントスル諸貨物ハ。之ヲ没収ス。

第百七條

諸貨物ヲ日本国ノ或ル港ニ輸入シ。若

クハ或ル港ヨリ輸出シ。其税ヲ納メシ人。其納了セ

ル金額ノ過當ナルヲ。其日期ヨリ一箇年<sup>十二箇月</sup>ノ或

ル時期ニ於テ。如斯港ノ税関長ニ證明シ。税関

長其証明スル所ノ實ナルヲ了シ。之ヲ是トスル

税関長ノ裁決ニ  
服セズシテ上控  
スル事

未納税追徴ノ  
事

片ハ。則留キニ納了セル金額ノ實ニ過キタル過  
分ヲ精算シ。之ヲ其本人ニ返却スヘシ。

第百八條 上條ノ時期内ニ。過納税ノ請求ヲ為  
シ。而シテ税関長ノ裁決ニ服セサルモノハ。其上控  
ヲ聽断スヘキ権ヲ有スル裁廳ニ上控スルヲ得。  
得。而シテ其裁廳ハ。之ヲ審聽シ。之ヲ裁決ス。

第百九條 諸貨物ヲ日本国ノ或ル港ニ輸入シ。  
若クハ或ル港ヨリ輸出シ。其願書ヲ税関ニ出  
セシ日期ヨリ。一ケ年ノ内ノ或ル時期ニ於テ。  
其貨物ニツキ實ニ納ムヘキ金額ヨリ不足ナ

税関長ハ未納  
税ヲ追徴セン  
為メニ訴訟ヲ  
為スヲ得ル事

ル税ヲ納メ。若クハ之ヲ納ムヘクシテ却テ一  
ノ税ヲモ納メサリシヲ發シ得ル片ハ。税関  
長ハ。書票ヲ以テ。其貨物ノ輸入人、輸出人、如ク  
ハ此等ノ代理人ニ照會シ。既ニ納メタル税額  
ノ其實數ニ違ヒタルノ不足。若クハ之ヲ納ム  
ヘクシテ未タ納メサル全税ヲ償納セシムヘ  
シ。

第百十條 上條ノ書票ヲ得シ人。其税ヲ償納ス  
ルヲ拒ミ如クハ怠リ。若クハ十日ノ間ニ。其  
答辯書ヲ出スヲ怠ルアル片ハ。税関長如

文書ノ寫ハ規  
銀ヲ納メハ之ヲ  
得ヘキ事

クハ其代理人ハ其稅ヲ追徴セシカ為メニ正  
當ノ裁廳ニ於テ其本人ニ對シ。訴訟ヲ為ス  
ラ規法トス。而シテ其裁廳ハ之ヲ審問シ。及之  
ヲ裁決ス。

第百十一條 右稅関ニ納置セル。或ハ右稅関ヨ  
リ取出セル諸文書ノ寫ハ。其納置セル或ハ取  
出セル人ヨリ。稅関ニ一圓ノ規銀ヲ納ハル片  
ハ。之ヲ謄寫シ。之ヲ付與スヘシ。而シテ一百字  
或ハ一百語ヨリ多クヲ記載シタル文書ハ。最  
初ノ一百ニ過タル者一百字 日本支那字  
ノ如キ是ナリ如クハ

一百語。西洋語 若クハ一百ニ滿タサルモ。一百  
ノ一部ニ入ル毎ニ半圓ノ増銀ヲ納ムヘシ。

稅関長ハ藏  
船ノ設置ヲ許  
可スルヲ得

第百十二條 各港ニ於テ稅関長ハ。商貨ヲ暫時  
貯藏スル藏船ノ設置ヲ許可スル權ヲ有ス。而  
シテ其為メニ設立セル所ノ法則、規則、及約束  
ニ従ハシムヘシ。

稅関長藏船ノ  
設置ヲ許可ス  
ル事

第百十三條 稅関長ハ。其港ニ於テ須要ナル港  
規則ヲ設立シ。租稅頭ノ許可ヲ經テ。之ヲ遵奉  
セシムルノ權ヲ有ス。

稅関長倉庫ヲ  
備フル事

第百十四條 稅関長ハ。各港ニ於テ。輸出入ノ時。



入庫スヘキ諸貨物~~積~~ノ為メニ充分ナル倉庫ヲ設備スヘシ。而シテ其倉庫ハ。税関長如クハ此職掌ヲ命セラレタル他ノ官吏ノ管轄及監督屬ス。又其倉庫ヲ或ル人ニ賃附スルハ。税関長ハ其借庫人ヲシテ。次下ノ書式ヲ用ヒ。借庫證書ヲ出シ。充分ナル一名ノ保證人ヲ立テシムヘシ。而シテ借庫人及保證人ハ其倉庫ノ使用ニツキ。税関長ヨリ通告スル所ノ諸規則ヲ。正當ニ遵奉スヘキヲ證スヘシ。

火藥等投陸貯藏ノ事

第一百十五條

火藥、石炭、石腦油等。破裂シ易キ劇品如クハ。燃易キ諸貨物ハ。税関長ノ特許ヲ得サレバ。之ヲ船卸スルヲ許サス。又税関長ノ指令スル所ノ時期及場所ノ外。之ヲ投陸スルヲ許サス。又其指令スル倉庫ニ非サレバ。之ヲ入庫スヘカラス。

船不閉港ニ赴ク中税関吏員ヲ臨シテ事

第一百十六條

諸船舶。其修繕ノ為メ。若クハ他ノ困難船ヲ救助セシカ為メ。或ル不閉港ニ赴カント要セハ。該船長ハ其事情ヲ税関長ニ出願スヘシ。而シテ税関長。其事實巴トヲ得サル

諸船舶。其修繕ノ為メ。若クハ他ノ困難船ヲ救助セシカ為メ。或ル不閉港ニ赴カント要セハ。該船長ハ其事情ヲ税関長ニ出願スヘシ。而シテ税関長。其事實巴トヲ得サル

船長諸稅等金  
等ヲ納ムル  
能ハサレハ其所  
有品ヲ賣却シ  
之ヲ償フ事

ニ出ル下ヲ察セハ。之カ特許ヲ與ヘ。且其船舶  
監護ノ為メ。稅関吏員ヲ其船舶ニ臨監セシム  
ヘシ。而シテ吏員ノ諸經費ニ至テハ。其船長ヨ  
リ之ヲ辨スル下。規法タリ。

第百十七條 凡船長其納ムヘキ諸稅諸罰金如  
クハ諸規銀ヲ納ムル下能ハサルハ。稅関長  
ハ。船主如クハ其引請人ヲシテ。之ヲ納メシメ。  
若クハ如斯船長。船主。或ハ其引請人ノ所有物  
品ヲ賣却セシメ。若クハ如斯物品ヲ沒収シテ。  
之ヲ公賣シ。如斯諸稅諸罰金如クハ諸規銀ヲ

償了ス。但公賣金。如斯諸稅等ヲ償了シ。猶剩餘  
アトハ。之ヲ其本人ニ還付スヘシ。

規則ニ及シ使  
用セシ船舶ヲ  
廢置スル事

税関長ハ船舶ニ  
特許ヲ與スルヲ  
得ル事

第二十二項

諸船舶ノ制限及密商税ノ防弊

第一百十八條

此規則如クハ税関ニ干スル他

ノ規則ニ及シ使用スル所ノ船舶如クハ舟艇

其規則中ニ明記シタル罰則十キモノニ係レ

ハ。盡ク之ヲ沒收シ。若クハ其船長ヨリ千圓以

下二百圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。

第一百十九條

税関長ハ或ル時況ニ依リ噸數

百噸ニ過サル船舶如クハ舟艇ニ或ル規則ヲ

設ケ。制限ヲ立テ。特許ヲ付與スルヲ得。

税関長ニ免状ヲ  
廢止スルヲ得  
ル事

免状ヲ得ルモノ  
免状所持セサル  
船舶ハ之ヲ沒收  
スル事

免許ナキ船舶ニ  
テ貨物ヲ運輸スレ  
ハ船舶ヲ并セテ之  
ヲ沒收スル事

脱税制禁等  
ノ貨物ヲ運漕  
スル船舶ハ之ヲ  
沒收スル事

船舶ニ属スル舟  
艇ハ船舶ノ名号  
ヲ明記スル事

第百二十條 税関長ハ是等ノ規則ニ從テ付  
與セル免状ヲ廢止改正スルヲ得。

第百二十一條 免許ヲ得ス。若クハ免状ヲ所持  
セスシテ。貨物ヲ運搬スル船舶如クハ舟艇ハ。  
第百十八條ノ法則ヲ以テ。之ヲ處置ス。

第百二十二條 船舶埠頭ノ間。輸出入ノ貨物ヲ  
船積船卸ノ為メ。運漕スル所ハ。如斯輸出入人  
如クハ此等ノ代理人ハ。税関長如クハ港長ノ  
免許ヲ得タル船舶雇用スヘシ。若他ノ船舶ヲ  
使用シ。如斯貨物ヲ運輸スル所ハ。其貨物ハ。之

ヲ沒收シ。其船舶ハ。第百十八條ノ法則ヲ以テ。  
之ヲ處置ス。

第百二十三條 脱税制禁或ハ制限ノ貨物ヲ輸  
出入シ。投陸船積ノ為メニ。諸船舶如クハ舟艇  
ヲ使用セハ。如斯船舶ハ。第百十八條ノ法則ヲ  
以テ。之ヲ處置シ。其貨物ハ。之ヲ沒收シ。且其船  
艇ノ所有人及船長ヨリ。一千圓以下百圓以上  
ノ罰金ヲ徵收ス。

第百二十四條 諸船舶ニ属セル舟艇ハ。其舳部  
ノ外面ニ於テ。黒地ニ。長廿一尺七寸ニ減七廿

船舶ニ属セサル

舟艇ハ其所有

人ノ名氏ヲ明記

スル事

免状ナク船舶積載

即セル貨物及制

禁ノ貨物ハ之ヲ

没收スル事

ル白色或ハ黄色ノ文字ヲ以テ其船舶ノ名号  
ヲ明記スヘシ。否ラサレハ其所有人ヨリ。一  
百圓以下十圓以上ノ罰金ヲ徴収ス。

第百二十五條 船舶ニ属セサル舟艇ハ其船部  
ノ外面ニ於テ。上條ノ方法ヲ以テ其所有人ノ  
名氏ヲ明記スヘシ。犯ス者ハ。罰上條ニ同シ。

第百二十六條 税関ノ免状ヲ得スレテ。或ル貨  
物ヲ船舶如クハ舟艇ニ装載シ。若クハ船舶ヨ  
リ之ヲ船舶卸セシモノ。若クハ入庫シタル或ル  
貨物ヲ。隱密如クハ不法ニ運搬セシモノ。若クハ輸

詐偽ヲ以テ諸  
貨物ヲ輸出入シ  
後日發見スル罰  
没ノ事

出制禁ノ貨物ヲ輸出セシカ為メ。船舶如クハ  
舟艇ニ装載セシモノ。若クハ同上ノ心計ヲ以  
テ。貨物ヲ埠頭。海岸。如クハ他ノ場所ニ運致セ  
シモノ。若クハ輸出入制限。制禁。或ハ収税ニ属  
シタル或ル貨物ヲ。其制限。制禁。如クハ収税ニ  
属セサルモノト偽リ。之ヲ輸出入セシト謀リ  
シモノ等。其貨物ハ。總テ之ヲ没収ス。

第百二十七條 上條ノ如ク。制限。制禁。或ハ収税  
ニ属スル貨物ヲ。詐偽ヲ以テ輸出入シ。然カク  
輸出入セシ後。發覺セハ。其輸出入人ヨリ。其貨

免状ナク運搬  
至諸貨物ハ密  
高脱税スル者ト  
看做スヘキ事

船貨ヲ船卸セシ  
事由ヲ説明セ  
サレハ其船舶ハ  
之ヲ没収スル  
事

押留或ハ検査  
スヘキ船舶ニ  
登碇スル事

物ノ價直ニ均シキ罰金。若クハ二千圓以下二  
百圓以上ノ罰金ヲ徴収ス。

第百二十八條 凡ソ税関ノ免状ナク運搬セシ  
諸貨物ハ密商脱税スル者ト看做スヘシ。但該  
貨物ノ輸出入人如クハ他人充分ノ憑證ヲ  
立ツル者ハ此限ニ非ラス。

第百二十九條 諸船舶如クハ舟艇貨物ヲ裝載  
シ日本國ノ或ル開港内ニ在リ其後如斯船舶  
ニ壓艫沙石如クハ壓艫ノ為メニ積載セル諸  
物ヲ餘シ船長其貨物ヲ某ノ津港如クハ某ノ

地方ニ於テ正當ニ船卸セシ事由ヲ證明スル  
ト能ハサルハ如斯船舶如クハ舟艇ハ之ヲ  
没収シ如斯船長ヨリ五百圓以下二百圓以上  
ノ罰金ヲ徴収ス。

第百三十條 押留或ハ検査スヘキ船舶如クハ舟  
艇密商防禦ノ為メニ日本國旗号ヲ掲揚シ正  
當ニ使用サレタル船舶ニ追ハレ之カ為ニ停  
航如クハ接航セサレハ如斯公船ノ船長如ク  
ハ其管掌人ハ其追航セシ船舶如クハ舟艇ニ  
向テ先ツ合圖ノ為メ登碇スルヲ正當ノ規

諸港ノ境界内  
ニ泊スル船舶ハ  
官吏ノ搜索ヲ  
受クヘキ事

法トス。而シテ如斯公船ノ船長如クハ他人ハ  
如斯事件ニ付テ。或ル罰贖如クハ訴訟等ヲ受  
クルトテ免カルヘシ。又停航如クハ接航スヘ  
キノ号砲ヲ得テ。停航接航セサル船艇。現時如  
クハ。嗣後之ヲ押留スル所ハ。該船長ヨリ。一千  
圓以下二百圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。

第百三十一條 密商防禦ノ為メ。正當ニ使用サ  
レタル税関吏員如クハ他人ハ。其船長如クハ  
他人ノ要求ニ應シ。其委任状ヲ出シ。之ニ示シ。  
日本国ノ或ル港内ニ滞泊スル船舶如クハ舟

税関吏員車  
等ヲ留駐シ其  
貨物ヲ搜檢ス  
ル事

艇ニ上リ。制禁或ハ脱税ノ貨物ヲ搜索シ。其船  
艇ノ房室。及其他ノ諸部ヲ監視シ。滞泊ノ間。其  
船艇上ニ留駐スルコトヲ得。

第百三十二條 税関吏員如クハ密商防禦ノ為  
メ。正當ニ使用サレタル他人。或ル密商貨物ヲ  
積載スルニ疑ヒアレハ。之ヲ検査センカ為ソ。  
或ル車如クハ他ノ運輸器ヲ留駐シ及搜檢ス  
ルコトヲ得。而シテ如斯吏員如クハ他人ハ。其車  
中如クハ運輸器ニ。如斯貨物ヲ裝載セサルモ。  
其留駐、搜檢ノ故ヲ以テ。或ル罰金訴訟等ヲ受

税関吏員の家  
屋に入り脱税  
制禁ノ貨物ヲ  
搜索スルヲ得  
ヘキ事

ケサルヘシ。又如斯車如クハ運輸器ヲ馭使シ  
如クハ帶牽シ。其留駐如クハ搜檢ヲ拒ミシ者  
アレハ。如斯諸人ヨリ。五百圓以下一百圓以上  
ノ罰金ヲ徴収ス。

第百三十三條 税関吏員如クハ税関長ノ指令  
ヲ受ケタル人。或ル裁廳ノ命令ヲ得ハ。晝日ニ  
或ル家屋、舗店、倉庫及其他ノ場所ニ進入シ。脱  
税、制禁等ノ貨物ヲ搜索スルヲ得。若之ヲ抗  
拒スル者アレハ。諸門戶、諸櫃箱及其他ノ諸苞  
箱ヲ開破スルヲ得。又諸脱税或ハ制禁ノ貨

物ヲ押留シ。提去シ。税関倉庫ニ安置シ。及之ニ  
封印スルヲ得。又如斯事務ヲ執行スルニ當  
リ。相當ノ助力ノ爲メ。他ノ官吏ヲ同伴スルヲ  
得ヘシ。

第百三十四條 没收ニ属スル貨物ヲ運搬轉移  
スル諸船舶、舟艇、車馬、如クハ他ノ運輸諸器ハ。  
該貨物ト共ニ。之ヲ没収ス。

第百三十五條 税関吏員如クハ密商防禦ノ為  
メ使用サレタル人ハ。此規則如クハ他ノ税関  
ニ干スル規則ヲ犯シ。没収ニ属スヘキ諸船舶、

没收ニ属スル諸  
貨物ヲ運移ス  
諸船舶、舟艇及  
運輸器ハ之ヲ  
没収スル事  
船舶、舟艇ヲ取  
押ヘ及諸犯人  
ヲ拘留スル事



取押ハタル貨物ハ之ヲ税関倉庫ニ運致スヘキ事

舟艇車馬如クハ諸貨物ヲ取押ヘ又同上ノ規則ヲ犯セル人ヲ拘留スルヲ得而シテ如斯諸船艇諸貨物如クハ犯人ハ該當ノ監守ノ吏員ニ交付スヘシ。而シテ没収ノ船艇ハ其器械裝飾及什物ヲ併セ没収ノ貨物ハ諸苞箱及其内ニ雜入シアル諸物ヲ併セテ之ヲ没収ス。  
第百三十六條 税関吏員如クハ密商防禦ノ吏員没収ニ屬スヘキ或ル貨物ヲ留駐シ如クハ取押ユル片ハ如斯場所ニ最近ノ税関倉庫ニ運致スヘシ。

盜掠ニ疑アル貨物ハ本人審訊ヲ受ルマテ之ヲ留置スル事

第百三十七條 或ル貨物其盜掠セシモノニ疑アリ或ル吏員之ヲ留駐シ如クハ取押ユル片ハ該吏員ハ其犯人審訊ヲ受クルマテ之ヲ留置シ而シテ其審訊ノ時ニ及ンテ之ヲ犯人ヲ送致スルノ官廳ニ運致シ且該貨物ヲ然カク取押ヘシトト其貨物ノ諸細目ヲ税関長ニ申報スヘシ。又如斯貨物ハ其審訊了ルノ後直ニ税関倉庫ニ運致シ法ニ從ヒ之ヲ處置ス。若或ル吏員如斯貨物ヲ留駐シ如クハ取押ヘ之ヲ税関倉庫ニ運致スルヲ急リ若クハ之ヲ留

船艇如クハ貨物ヲ取押ヘ其所有人ニ其事由ヲ報告スル事

駐シ如クハ取押ヘシ事由ノ申報ヲ為スルヲ急ルキハ如斯吏員ヨリ。一百圓以下二十五圓以上ノ罰金ヲ徴収ス。

第三百三十八條 或ル船舶、舟艇如クハ貨物。或ル時況ニ於テ。没收セン方為ノニ。之ヲ取押ユルキハ。税関長如クハ其代理人ハ。速ニ其取押ヘタル所以ノ原由ヲ。其船艇或ハ貨物ノ所有人ニ報告シ。若所有人。其地方ニ在留セサレハ。郵便ヲ以テ。其事ヲ告知スヘシ。而シテ如斯船艇或ハ貨物ノ所有人其取押ヘラレタル日ヨリ。三十日間ニ書牘ヲ以テ其最

租税頭如クハ税関長ハ取押ヘタル貨物ヲ交付スルヲ得ル事

取押ヘタル船艇如クハ貨物ハ税

近ノ港ニ在任セル税関長ニ請求シ。若クハ之ヲ請求セントスルノ申状ヲ作スニ非サレハ。如斯船艇如クハ貨物ハ。直ニ之ヲ没收シ了リ。若クハ之ヲ賣却シ。正當ノ處置ヲ為スヘシ。

第三百三十九條 租税頭如クハ税関長ハ。既ニ定罰セルト未タ定罰セサルトニ論ナク。其取押ヘタル船艇如クハ諸貨物ヲ。其相當トナセル所ノ期限及約束ヲ定メ。其所有人ニ交付スルヲ得ヘシ。

第四百十條 此規則如クハ税関ニ干セル或

大 藩 省

大 藩 省

関長ノ指令ニ  
従ヒ之ヲ處置  
スル事

ル規則ヲ犯シ。諸船舶、舟艇、如クハ諸貨物ヲ取  
押ヘシキハ。其定罰ノ後、直ニ税関長ノ指令ス  
ル所ノ方法ニ依テ。之ヲ處置スヘシ。

大 痛 峯

第二十三項

諸犯人ニ科スヘキ罰贖

第四百一十一條

税関吏員、其他密商脱税防禦ノ

為メ使用セル人ハ。日本國ノ或ル港ノ船舶、或

ハ舟艇上ノ人。若クハ右等ノ船舶ヨリ上陸ス

ル人。若クハ右等ノ船舶ヨリ上陸ス

ル人。若クハ右等ノ船舶ヨリ上陸ス

ハ右等ノ船舶ニ赴カントスル人等。脱税、或ハ

製禁ノ貨物ヲ。其身邊ニ匿帶セルニ疑アレハ。

之ヲ搜檢スルノ權ヲ有ス。若或ル人。如斯吏員

ノ諸船上如クハ他所ニ監査シ。若クハ諸船舶

密商脱税ノ貨  
物ヲ匿藏セルニ  
疑アル人ハ之ヲ  
搜檢シ其貨物  
ハ之ヲ沒收スル  
事

舟艇ヲ搜檢スルニ臨ミ之ヲ防碍スルヲアレハ時況ニ由リ五百圓以下一百圓以上ノ罰金ヲ徵收ス而シテ諸船舶上ノ人若クハ諸船舶舟艇ヨリ上陸セル人若クハ船舶ニ赴カントスル人等如斯吏負ヨリ其身邊如クハ其所有物中ニ脱稅或ハ制禁ノ貨物ヲ藏セサルヤノ尋問ヲ承ケ對ルニ之レ無キヲ以テ之而ル後其身邊如クハ所有品中ニ之ヲ隱匿セシラ發見スルキハ如斯貨物ハ之ヲ沒收シ且時況ニ由リ如斯貨物ノ價直倍三ノ罰金ヲ徵收ス

諸人搜檢ヲ受クル前ニ稅関長ニ申明スルヲ得ル事

違行ニツキ吏員ニ科スヘキ罰金ノ事

第百四十二條 或ル人上<sup>條</sup>ノ如ク吏負ノ搜檢スルニ當リ稅関長如クハ他ノ官吏ノ前ニ於テ之ヲ申明セシテ請フキハ如斯搜檢吏負ハ稅関長如クハ他ノ官吏ノ前ニ之ヲ同伴スヘシ而シテ稅関長如クハ他ノ官吏其申明スル所ヲ推究シ其搜檢スルノ理十キヲ審察スレハ之ヲ放免スルヲアルヘシ

第百四十三條 上條ノ如ク稅関長如クハ他ノ官吏ニ申明セシテ請フ者アレハ稅関吏員

刑禁制限ノ貨物等ヲ輸出入スル罰贖ノ事

ハ。穩便簡捷ノ方ヲ以テ。之ヲ同伴スヘシ。然レ  
氏其身違如クハ。所有物中ニ。脱税或ハ制禁ノ  
貨物ヲ匿帶セルヲ見認ムヘキ正理ノ原由  
無キ~~ハ~~。如斯搜檢吏員ヨリ。時況ニ由リ。五十  
圓以下十圓以上ノ罰金ヲ徴収ス。

第百四十四條 輸出入ノ制禁或ハ制限ニ屬ス  
ル貨物ヲ船卸シ如クハ船積シ。若クハ制禁如  
クハ制限ヲ犯テ。輸出入セニテ謀リ~~ハ~~。若クハ  
此等ニ干連シ。若クハホテ税関ノ免狀ヲ得サ  
ルニ。諸貨物ヲ船卸シ船積シ。若クハ此等ニ助

カシ如クハ干連シ。若クハ如斯不法ノ貨物ナ  
ルヲ知リ。若クハ倉庫如クハ他ノ場所ヨリ。  
税ヲ納メスシテ不法ニ運移セル貨物ナルヲ  
ヲ知テ。之ヲ貯蔵シ隱匿シ。若クハ未タ之ヲ果  
ササルモ。既ニ其情ヲ知テ。貯蔵隱匿スヘク約  
諾シ。若クハ此等ニ干連シ。若クハ不法ニ運移  
スルヲニ助力シ如クハ干連シ。若クハ有税ニ  
屬スル貨物ノ全税如クハ其幾分ヲ欺掠スル  
ノ心計ヲ以テ。之ヲ運搬シ運移シ貯蔵シ隱匿  
シ。若クハ其情ヲ知テ。之ニ助力シ~~ハ~~干連ス

検査前貨物ヲ  
隠移スル罰  
ノ事

ル等ノ事アレハ。如斯各人ヨリ。時況ニ由リ。本  
貨物價直ノ倍三ノ罰金ヲ徴収シ。若クハ五百  
圓以下二百五十圓以上ノ罰金ヲ徴収ス。

第百四十五條 輸出入ノ為メ。諸貨物ヲ税関吏  
負ノ検査スルニ先タテ。其許可ヲ經スシテ。船  
船、埠頭、如クハ他ノ場所ヨリ運搬シ。若クハ其  
運搬ニ助力シ干連シ。若クハ如斯不法ナル貨  
物タルトテ知リ。之ヲ貯蔵シ隠匿スヘク約諾  
シ。若クハ如斯不法ナル貨物タルトテ知テ。之  
ヲ買収シ。若クハ之ニ助力シ干連スル等ノ事

没収ニ屬シタル  
船舶ニ在リシ人  
ノ罰贖ノ事

アレハ。如斯各人ヨリ。其貨物價額ノ倍三ノ罰  
金ヲ徴収シ。若クハ五百圓以下二百五十圓以  
上ノ罰金ヲ徴収ス。

第百四十六條 日本國沿海ノ二里内ニ在テ。没  
収ニ屬スル船舶如クハ舟艇ニ乗込ミ居タル  
人ヲ看認マルルハ。之ヲ或ル裁廳ニ護送シ。其  
犯罪ニ決セシ後。百五十圓以下五十圓以上ノ  
罰金ヲ徴収ス。

第百四十七條 此規則如クハ税関ニ干セル他  
ノ規則ヲ犯シ。其罪拘留ニ當シ。而シテ拘留セ

逃亡人ヲ拘留  
スル事

規則ヲ犯セシ人  
ヲ拘留スル事

ラレス。若クハ拘留後逃止スルヲアレハ。如斯  
人ハ。時月ヲ経ルト雖。之ヲ拘留シ。現時其罪  
ヲ犯セシ者ノ如ク。之ヲ處置シ。若クハ他ノ裁  
廳ニ護送スヘシ。

第四百十八條

或ル人。此規則如クハ。税関ニ干

セル他ノ規則ヲ犯シ。之ヲ或ル裁廳ニ送致ス  
ルハ。其審司ハ。時況ニ因リ。其須要ナル報知  
如クハ。證據ヲ具フルマテ。相當ノ時期間。監獄  
ニ拘留シ。若クハ該當官吏ノ監護ヲ以テ。之ヲ  
拘留スルヲ得。然レモ然カク拘留セラレシ

租税頭税関長  
罰金ヲ減料免除  
スル事

吏員ヲ障碍ス  
ル人ヲ拘留スル  
事

第四百十九條

租税頭<sup>加</sup>税関長ハ。時況ニ由リ。

此規則如クハ。税関ニ干スル他ノ規則ヲ犯シ  
タル罰金ヲ減料シ。如クハ免除スルノ權ヲ有  
ス。

第四百五十條

税関吏員如クハ。密商防禦ノ為メ

ニ使用セラル。人。其職務ヲ執行スルニ當リ。  
之ニ抗拒シ。若クハ之ヲ障碍スル者アレハ。税

褒賞ノ為メ罰  
金ヲ給與スル事

関長ハ之ヲ拘留シ。時況ニ由リ。或ル裁廳ニ送  
致ス。

第百五十一條 税関長ハ。或ル吏員或ハ他人ノ  
力ニ因リテ。罰金ヲ徴收スレハ。時況ニ由テ。其  
幾分ヲ。褒賞トシテ如斯人ニ給與スルコトヲ得  
ヘシ。

犯列ノ人ヲ拘留  
スル褒賞ノ事

第百五十二條 税関長ハ。此規則如クハ。税関ニ  
干セル他ノ規則ヲ犯シタル或ル人ヲ拘留セ  
シ吏員如クハ他人ニ。時況ニ由リ。一百圓以下  
ノ褒賞ヲ給與スルコトヲ得ヘシ。

貨物ヲ取押  
スル褒賞ノ事

第百五十三條 税関長ハ。此規則如クハ。税関ニ  
干セル他ノ規則ヲ犯シタル諸貨物ヲ取押ヘ  
シ吏員如クハ他人ニ。其貨物ノ價直ニ過サル  
褒賞ヲ給與スルコトヲ得ヘシ。

貨物ノ價ヲ以テ  
罰金ノ數額ヲ  
定ムル事

第百五十四條 此規則如クハ。税関ニ干セル他  
ノ規則ヲ犯シ。貨物ノ價直ヲ以テ。其罰金ノ數  
額ヲ定ムルハ。其價直ハ。現時如クハ其前後。  
其場所ニ於テ。賣却セシ同種ノ頂好物ノ代價  
ニ依テ之ヲ計算スヘシ。

吏員頭等ヲ  
受テ貨物ヲ見通  
シ若ハ右等ヲ以

第百五十五條 税関吏員如クハ。密商防衛ノ為



テ之ヲ見遁サシ  
マシテ謀リシ罰  
贖ノ事

ノ使用セラル、人。其職務ヲ怠リ。没収ニ属ス  
ヘキ船舶、舟艇、如クハ貨物ヲ私ニ其所有人ニ  
交付シ。若クハ賄賂、贈遺ヲ受テ。之ヲ見遁カシ。  
若クハ同上ノ意ヲ以テ。他ノ諸物ヲ受ル如キ  
ハ。之ヲ該地ノ裁廳ニ送致シ。正當ノ刑律ヲ以  
テ。之ヲ處スヘシ。又前記ノ如キ吏員等ニ。諸般  
ノ工夫ヲ設テ。其職務ヲ怠ラシメ。此規則如ク  
ハ。税関ニ干セル他ノ規則ヲ遁レシカ為メ。若  
クハ賄賂、贈遺ヲ以テ之ヲ隱匿シ。之ヲ見遁カ  
サシマシテ謀リ。若クハ同上ノ心計ヲ以テ。

罰金ヲ贖償  
スルヲ能クセ  
サル者ヲ裁廳  
ニ送致スル事

他ノ諸物ヲ付典シ。若クハ付典スヘク約スル  
等ノ事アレハ。如斯若人ヨリ。時況ニ由リ。七百  
圓以下三百圓以上ノ罰金ヲ徴收ス。  
第百五十六條 此規則如クハ。税関ニ干セル他  
ノ規則ヲ犯シ。罰金ヲ徴收スルニ當リ。之ヲ贖  
償シ能ハサル諸人。及此規則ニ明掲セサル犯罪  
ノ諸人ハ。直ニ該地ノ裁廳ニ送致シ。正當ノ刑  
律ヲ以テ。之ヲ處スヘシ。





九  
卷